

成人向け
R-18



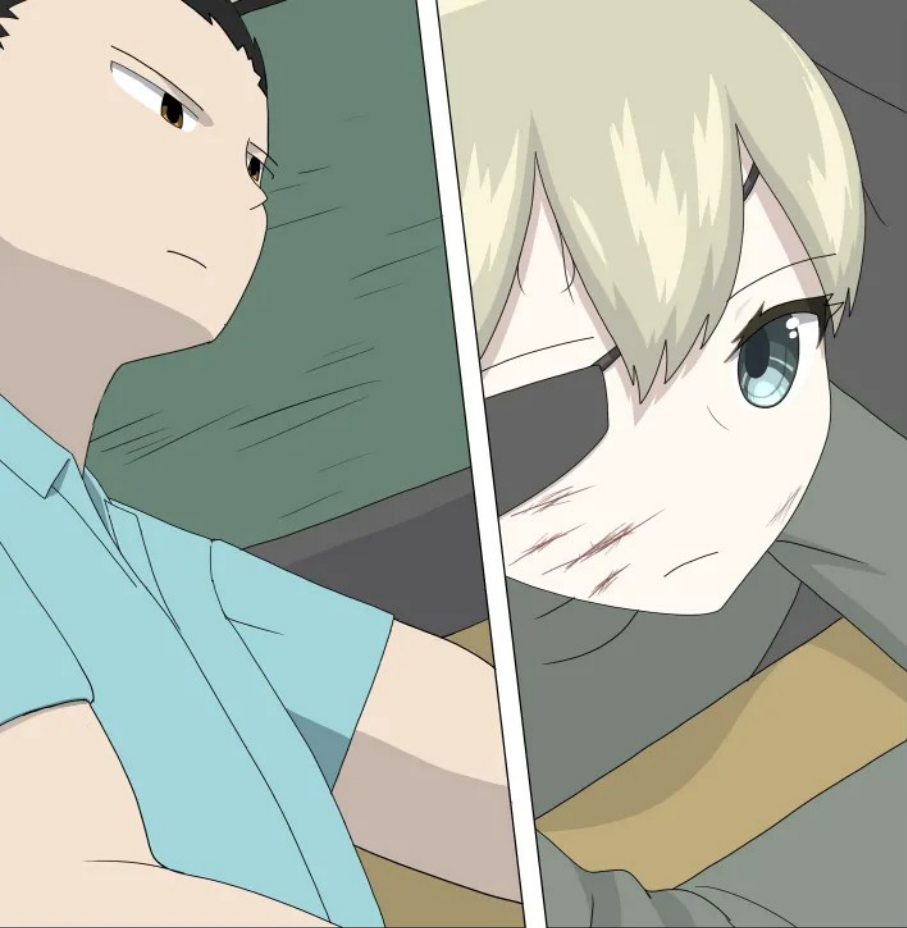
半裸留守番達磨











俺が戻るのは6時ごろだ
出ていってもいいがこの先もずっと田舎道だ
おすすめはせん

救急用品は正面の棚
シャワーは右
飲み水はヤカンにある

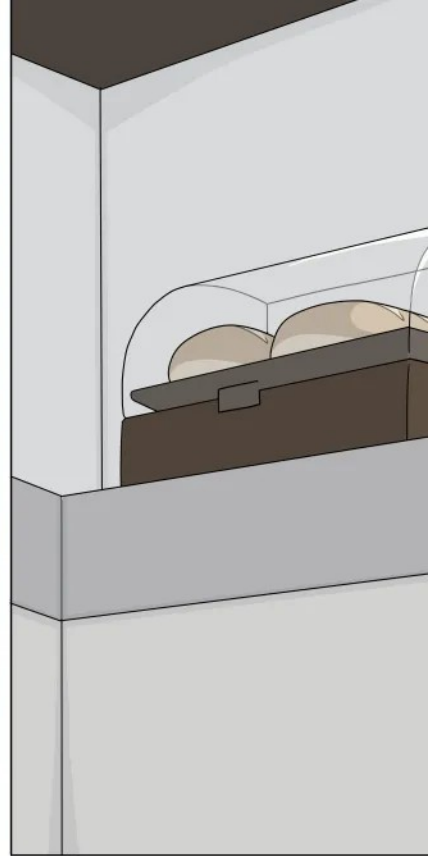
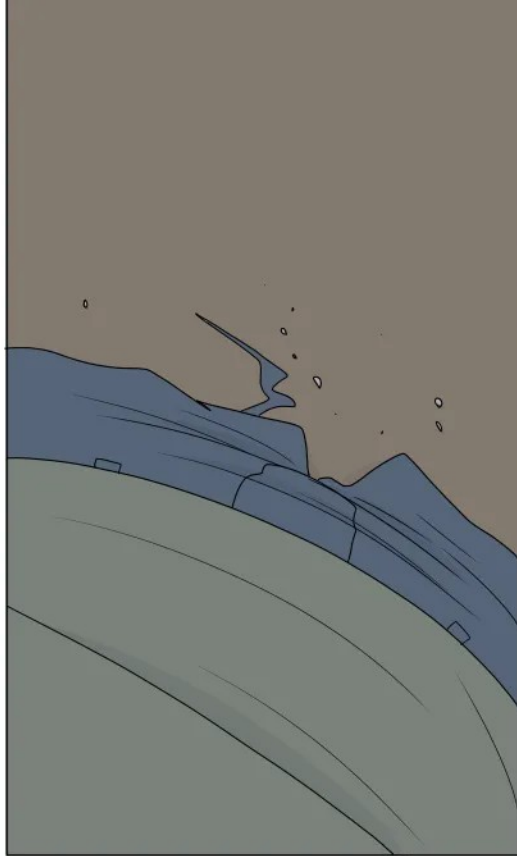
ガキヤ

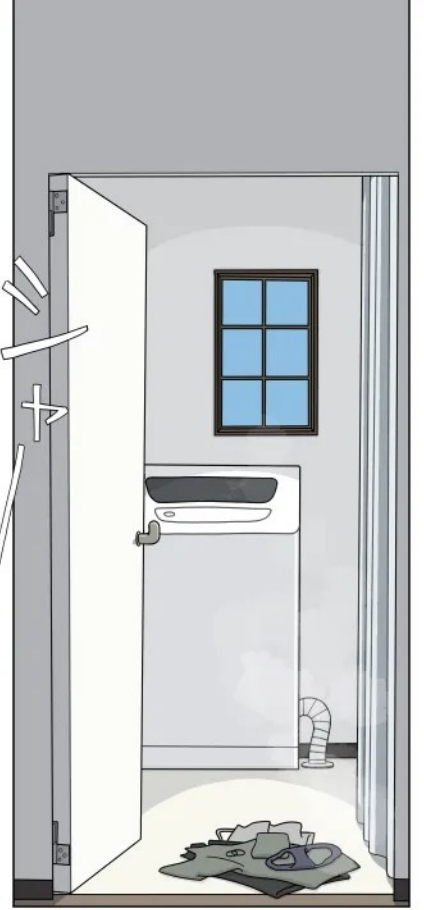


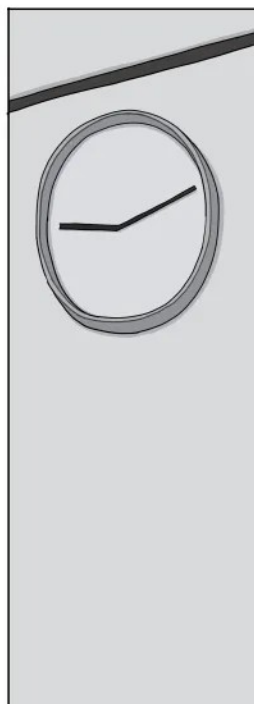
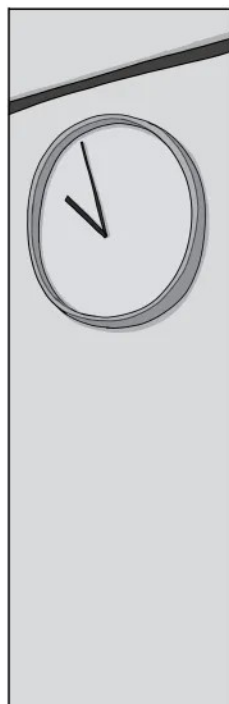
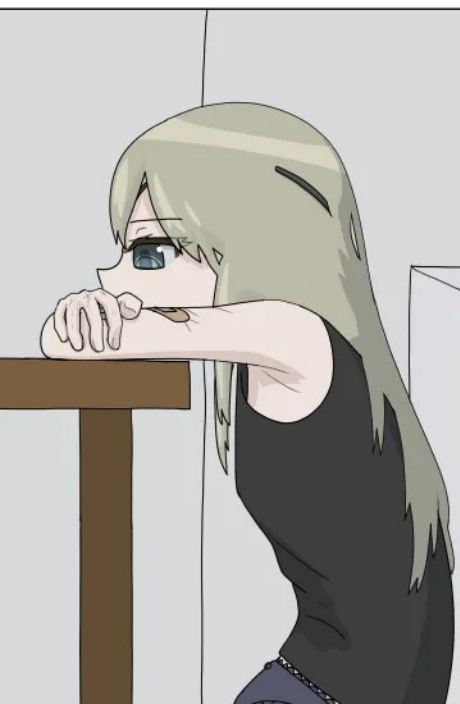
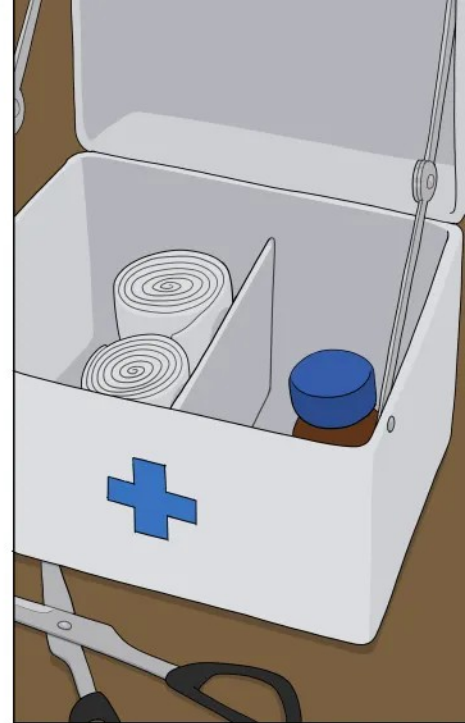
バン

ブウウー...











起きろ、夕飯だ

元気があればそこに座れ



すまん、女ものの着替えは無いんだ

平気よ

怪我は大丈夫か
体調はどうだ

まだ眠いわ

新しい環境に体が慣れていないんだろう
しっかり栄養を取って休め

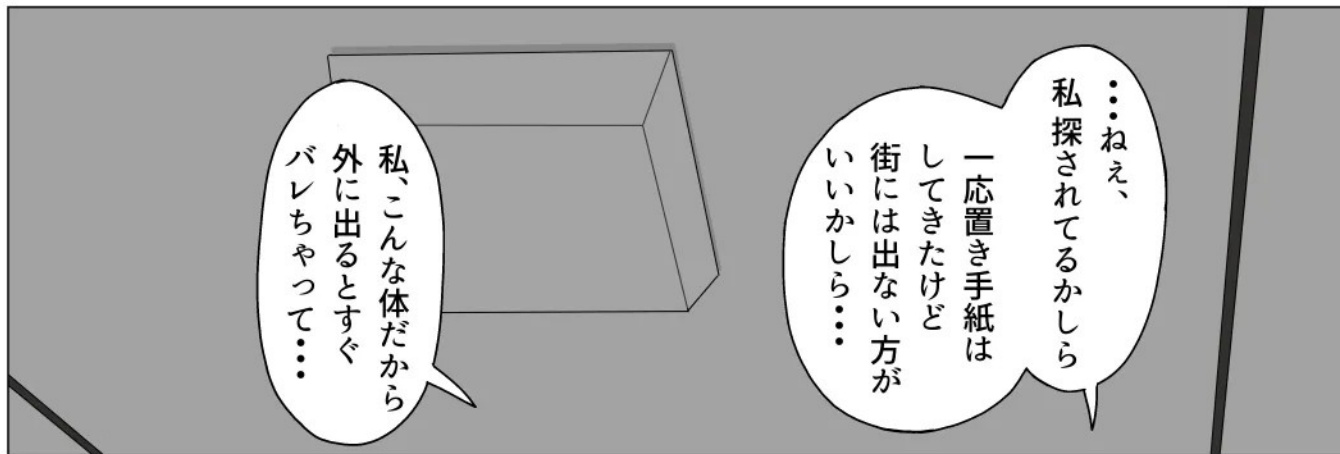
来客用のベッドが無くて
申し訳ないが...

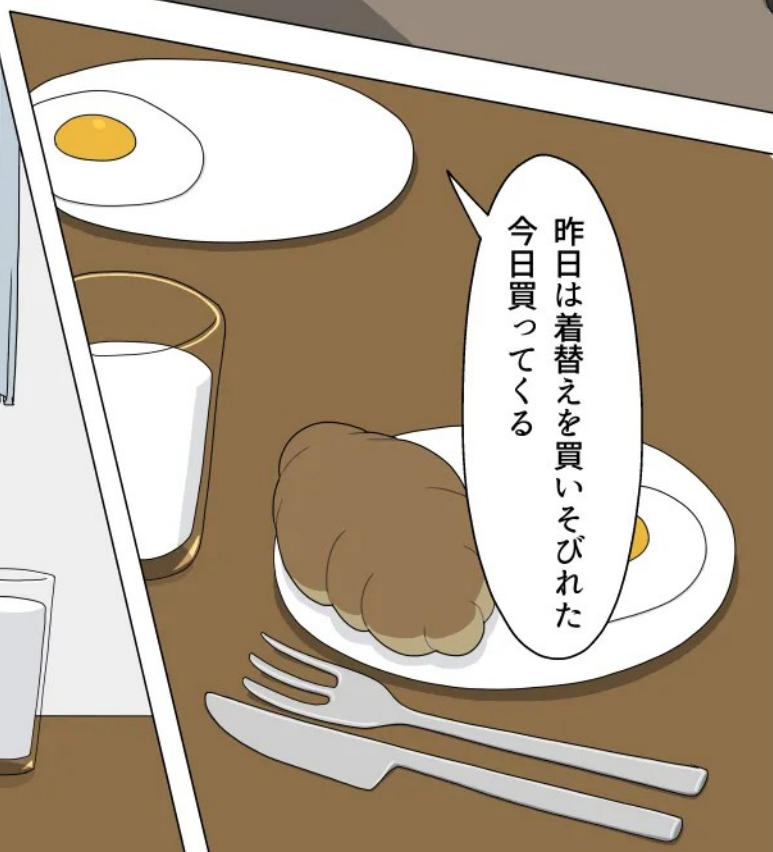
怪我が治ったら、街まで乗せていってやる
そこでなんとかしろ

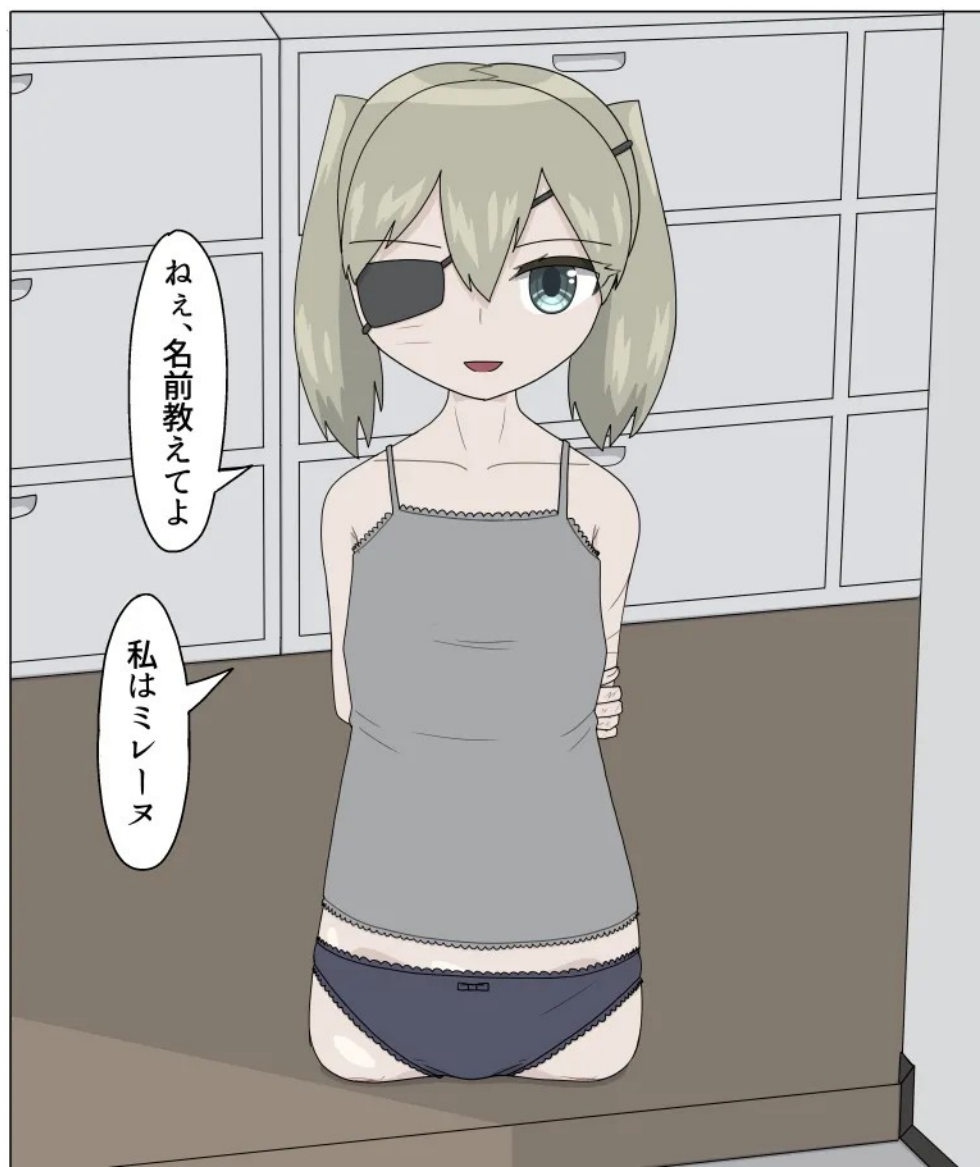


さあ・・・
もし俺がいいやつなら
どうしたかな・・・

・・・ねえ、
お兄さんって、いい人？







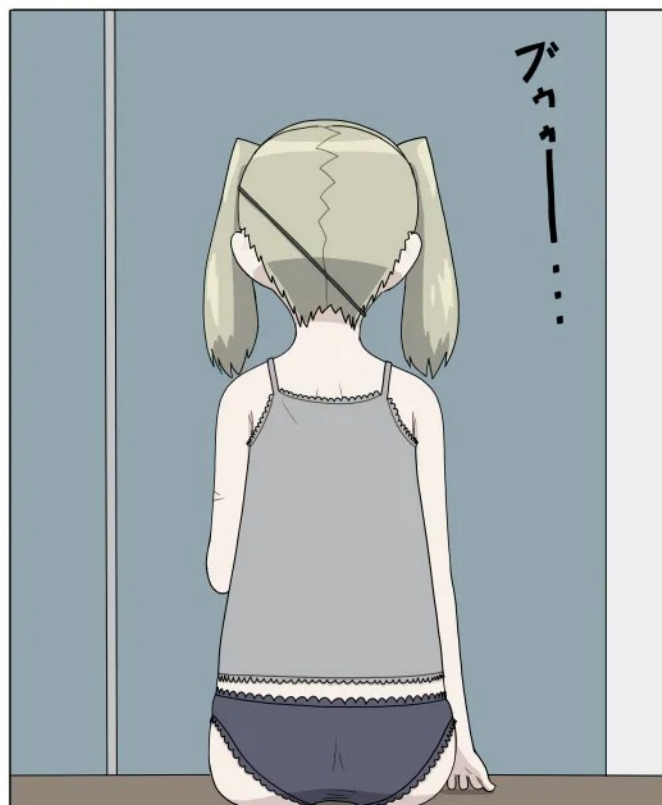
ねえ、ロランって悪い人？

：ああ、そうかもしれん
早くここから出ることを考えろ

うん…
分かってるわ

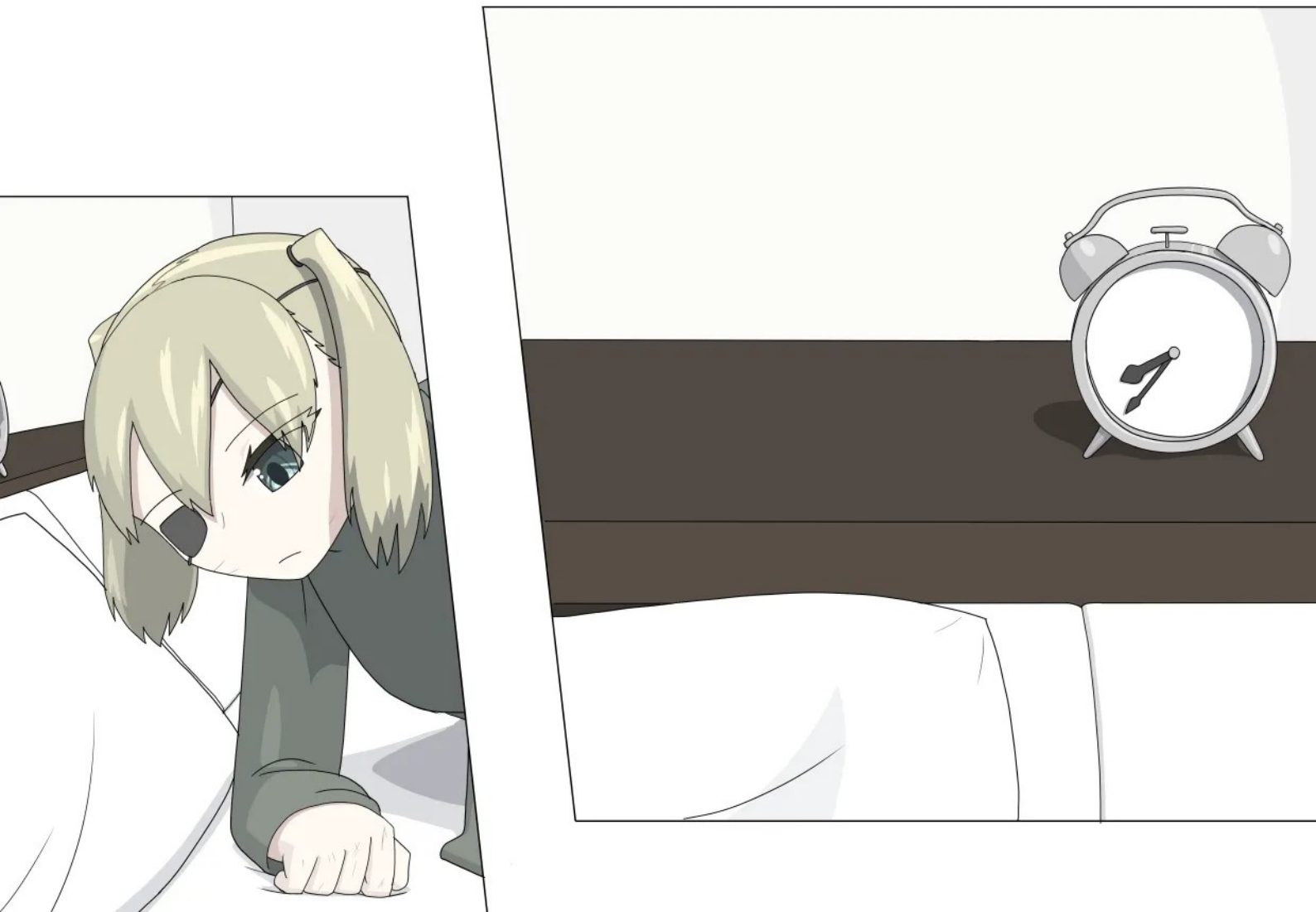
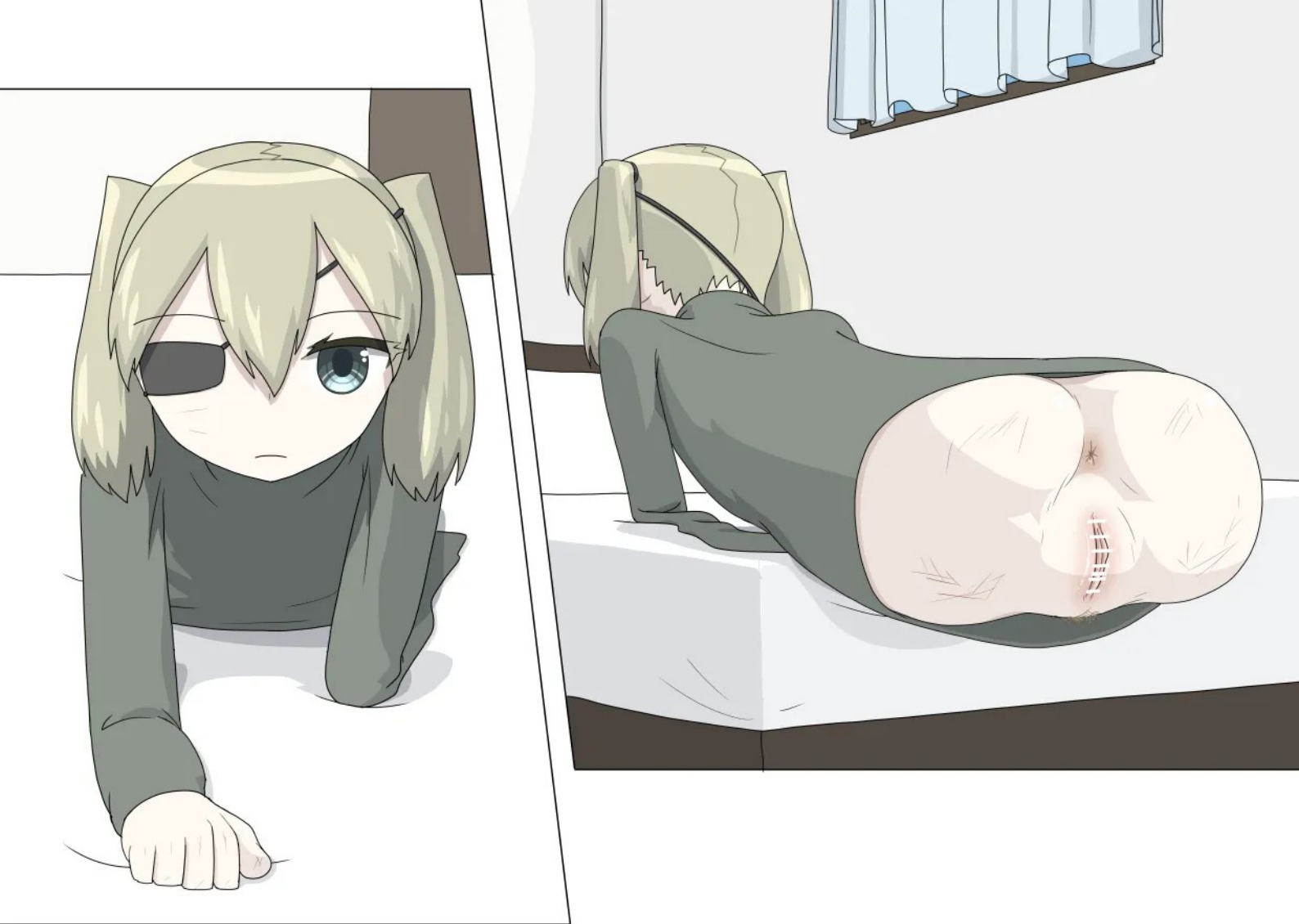
いってらっしゃい、ロラン

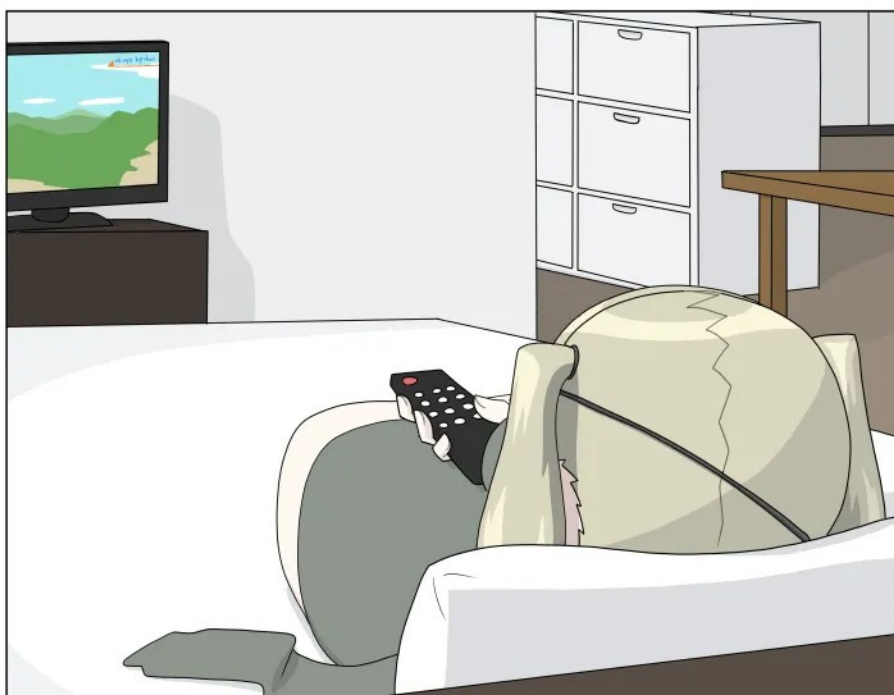
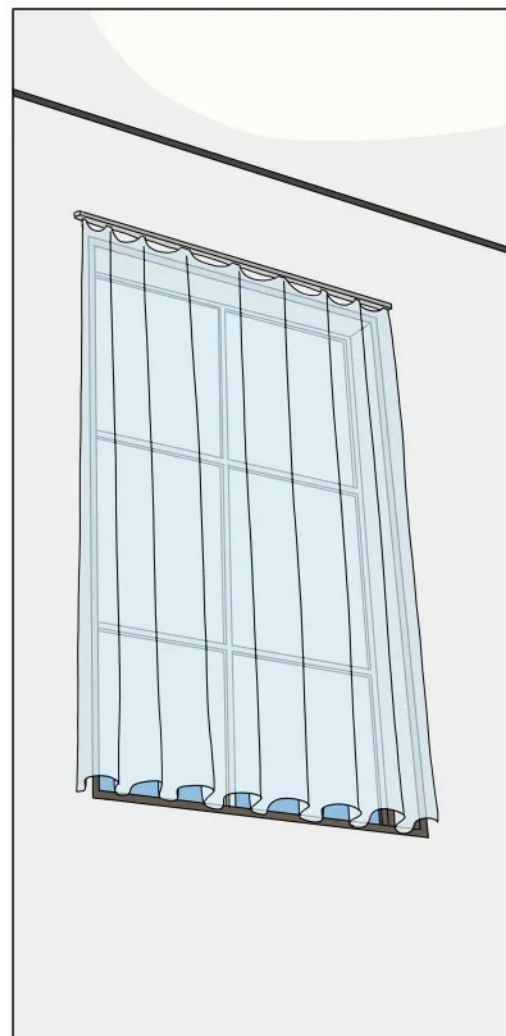
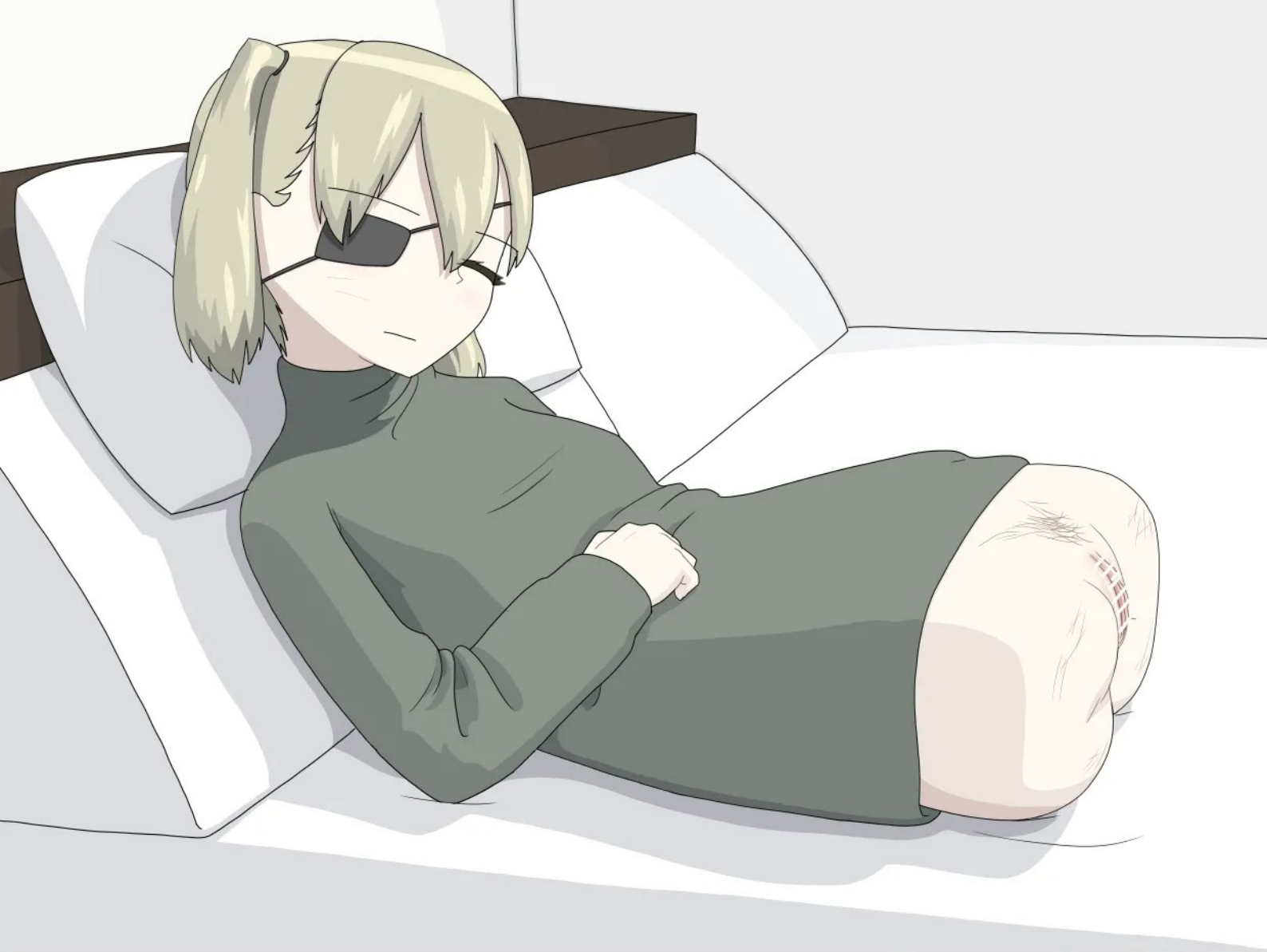
…

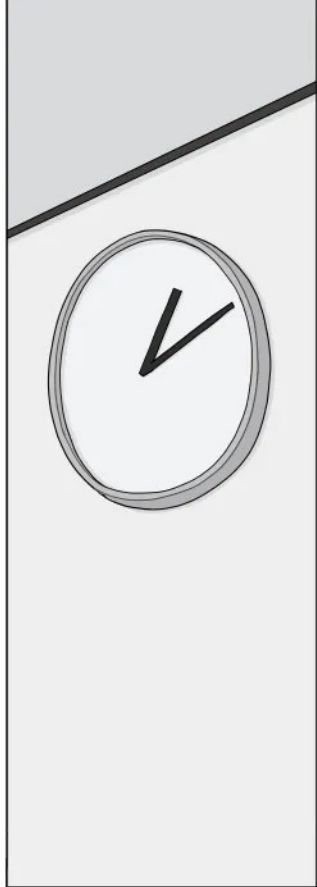






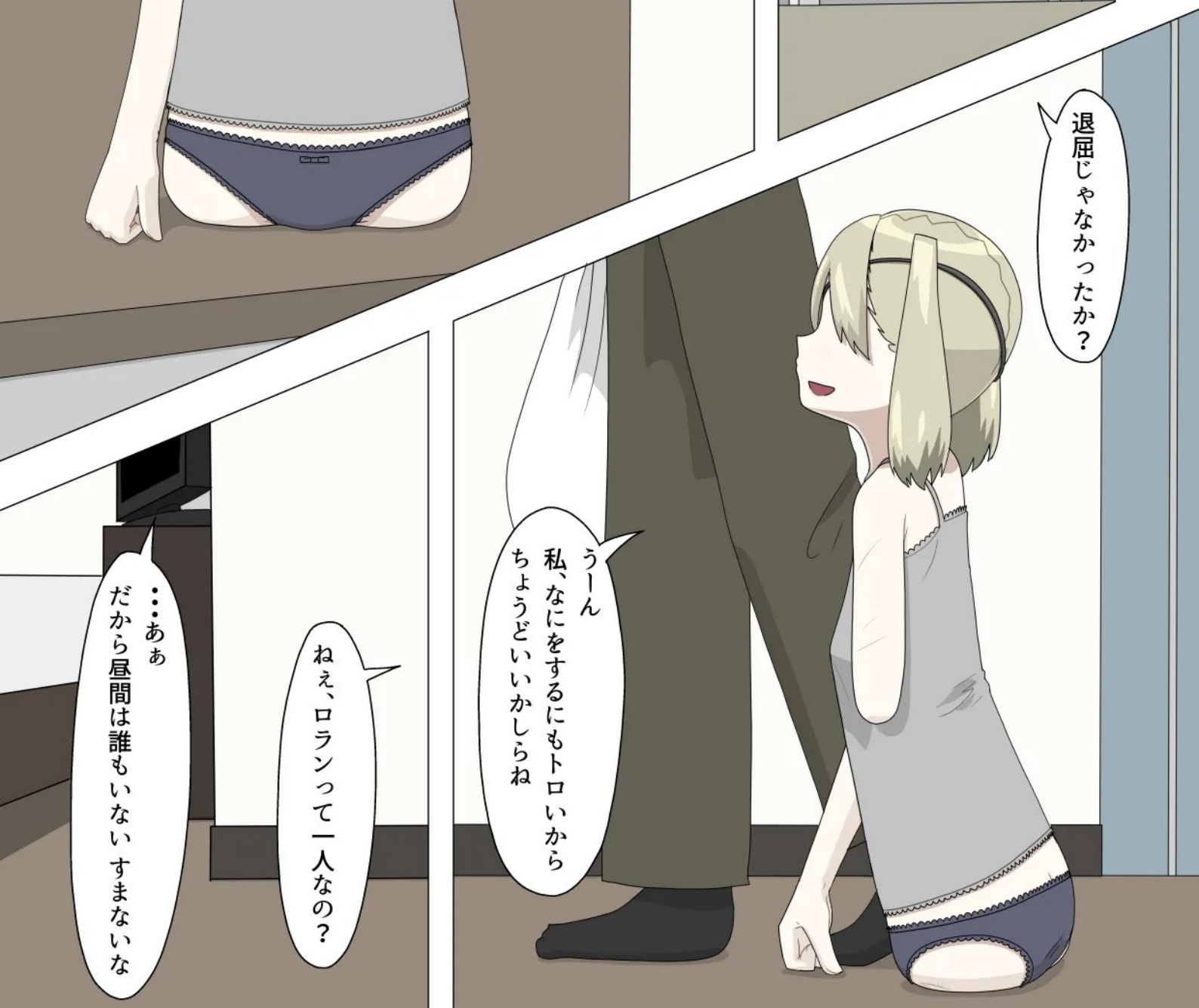








おかえりなさい

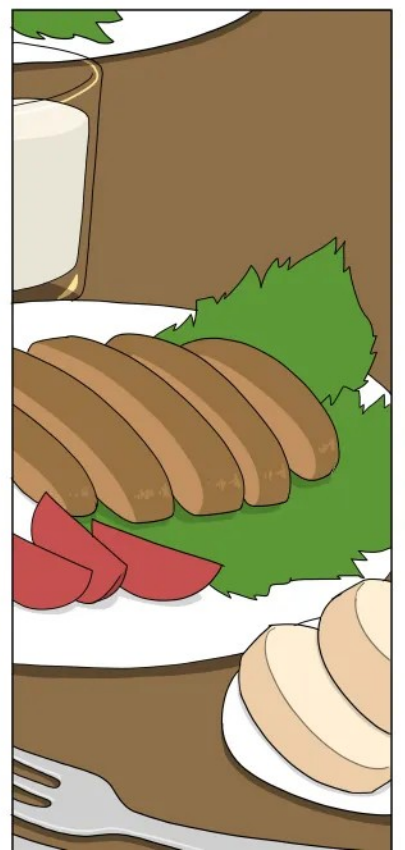
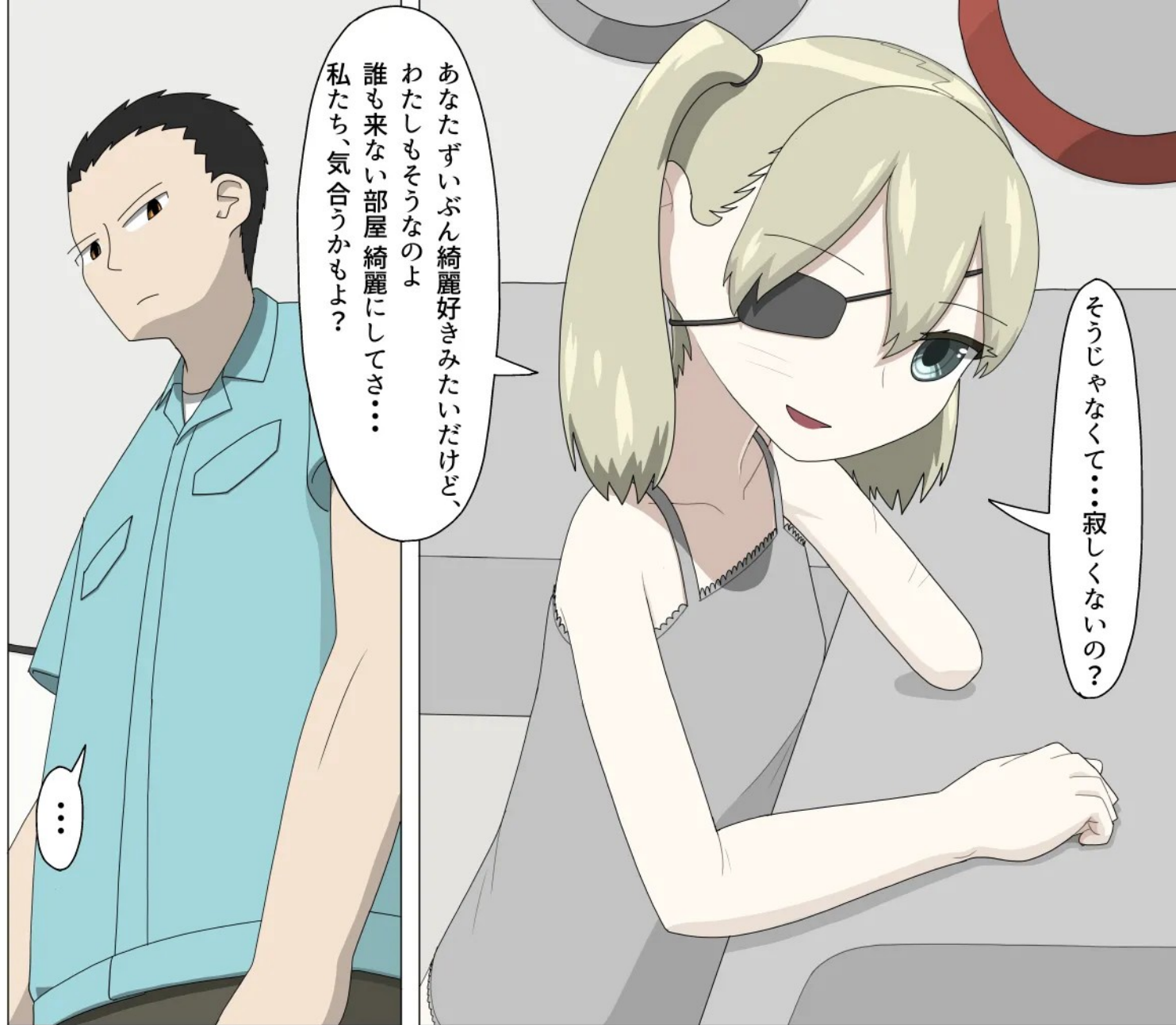


退屈じゃなかったか？

うーん
私、なにをするにもトロいから
ちようにいいかしらね

ねえ、ロランって一人なの？

…ああ
だから昼間は誰もいないすまないな



それに、私ぐらいの年頃って
他人との違いにやたら敏感じゃない
障害者が馴染める環境じゃないのよ、学校なんて

友達がいなかったわけじゃないけど
ずっと緊張しっぱなしだった

…
それに私ね、移動が苦手なのよ
登校中も、学校の中でも、
ほんとに不便な体！

だから私は、こうやっておうちに
引きこもってるのが向いてるのよ





そうか...

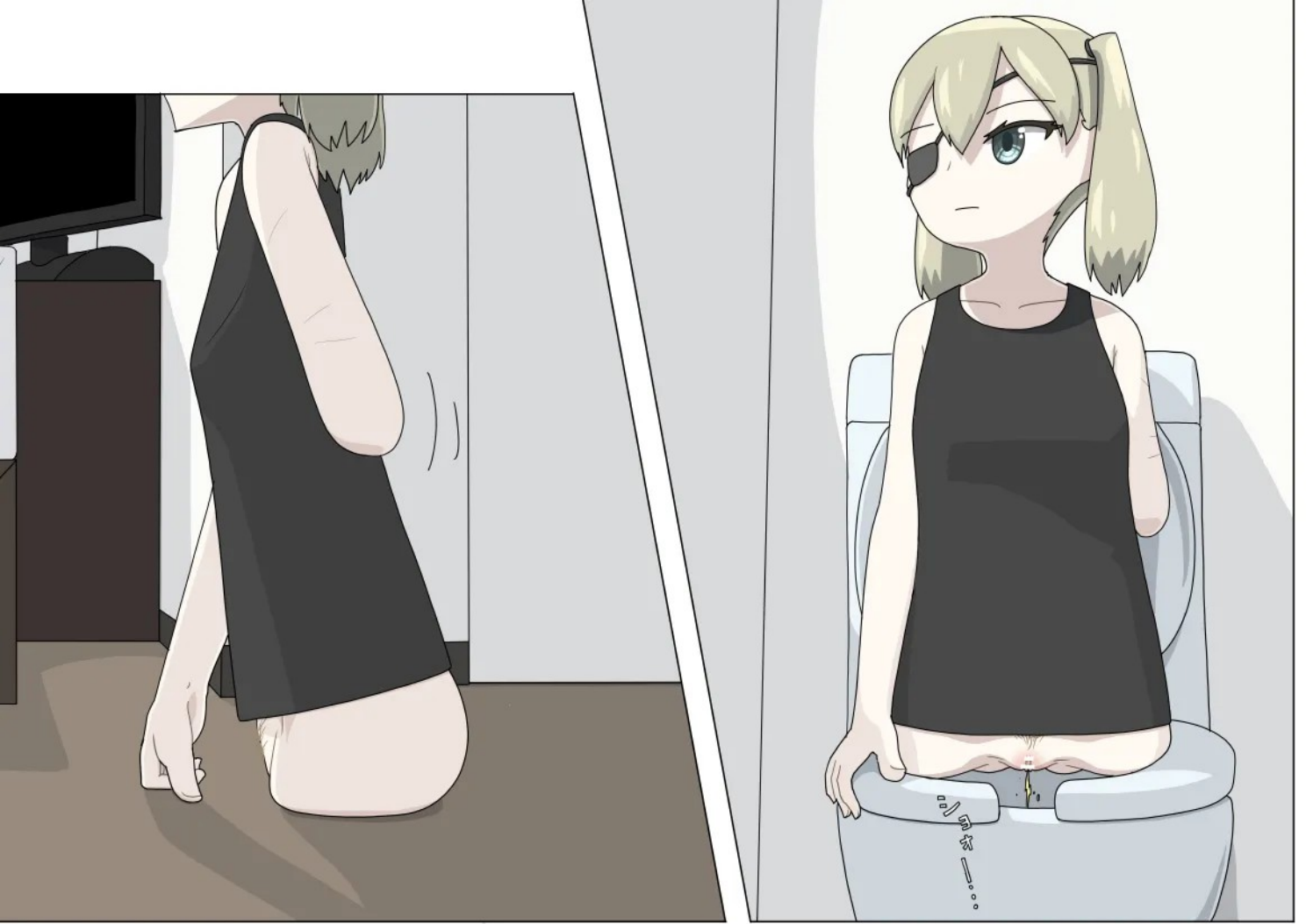


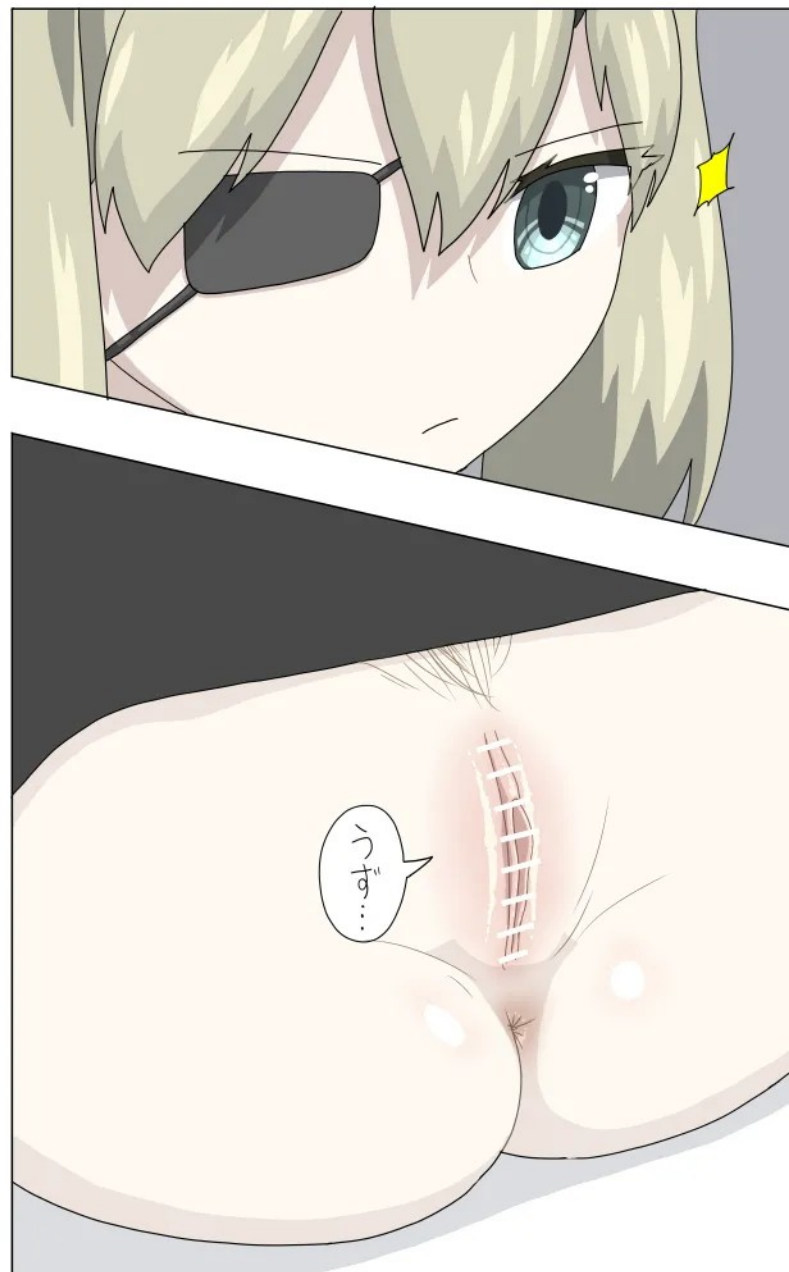
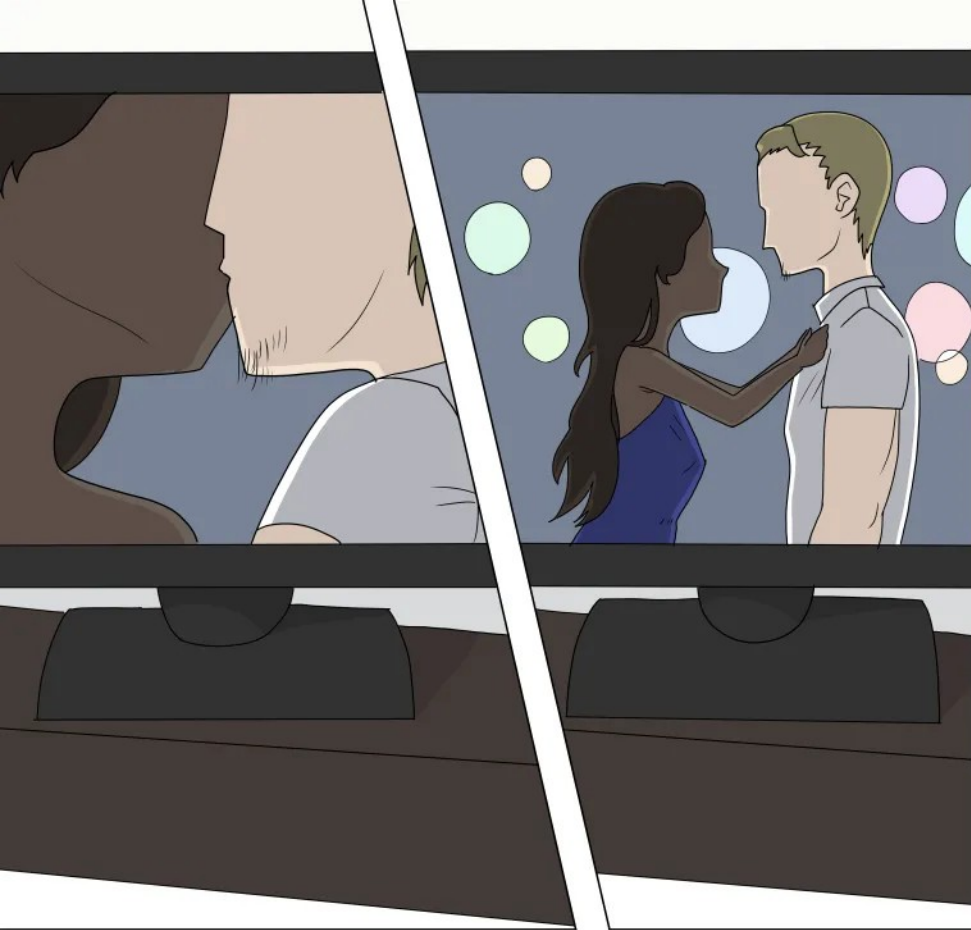


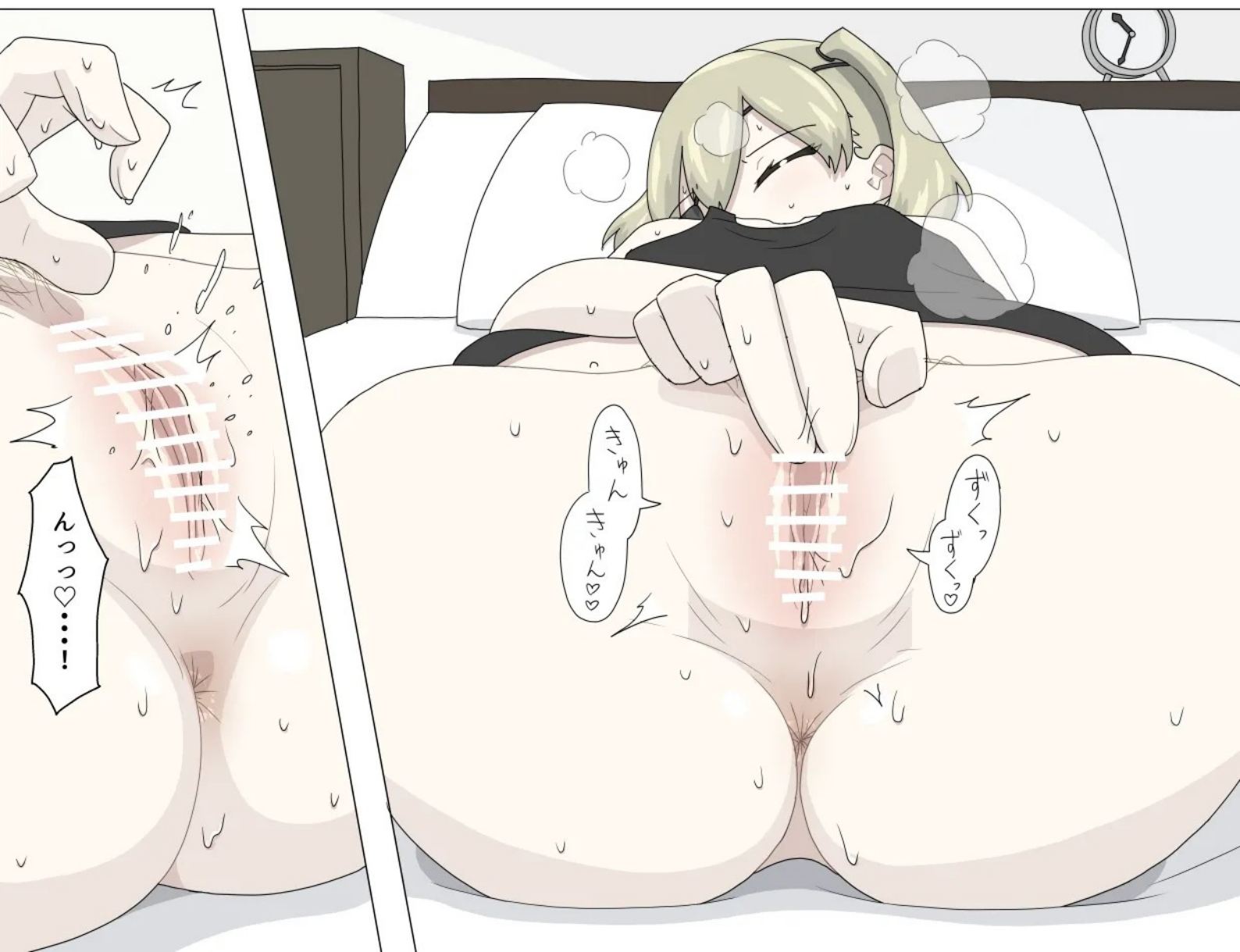
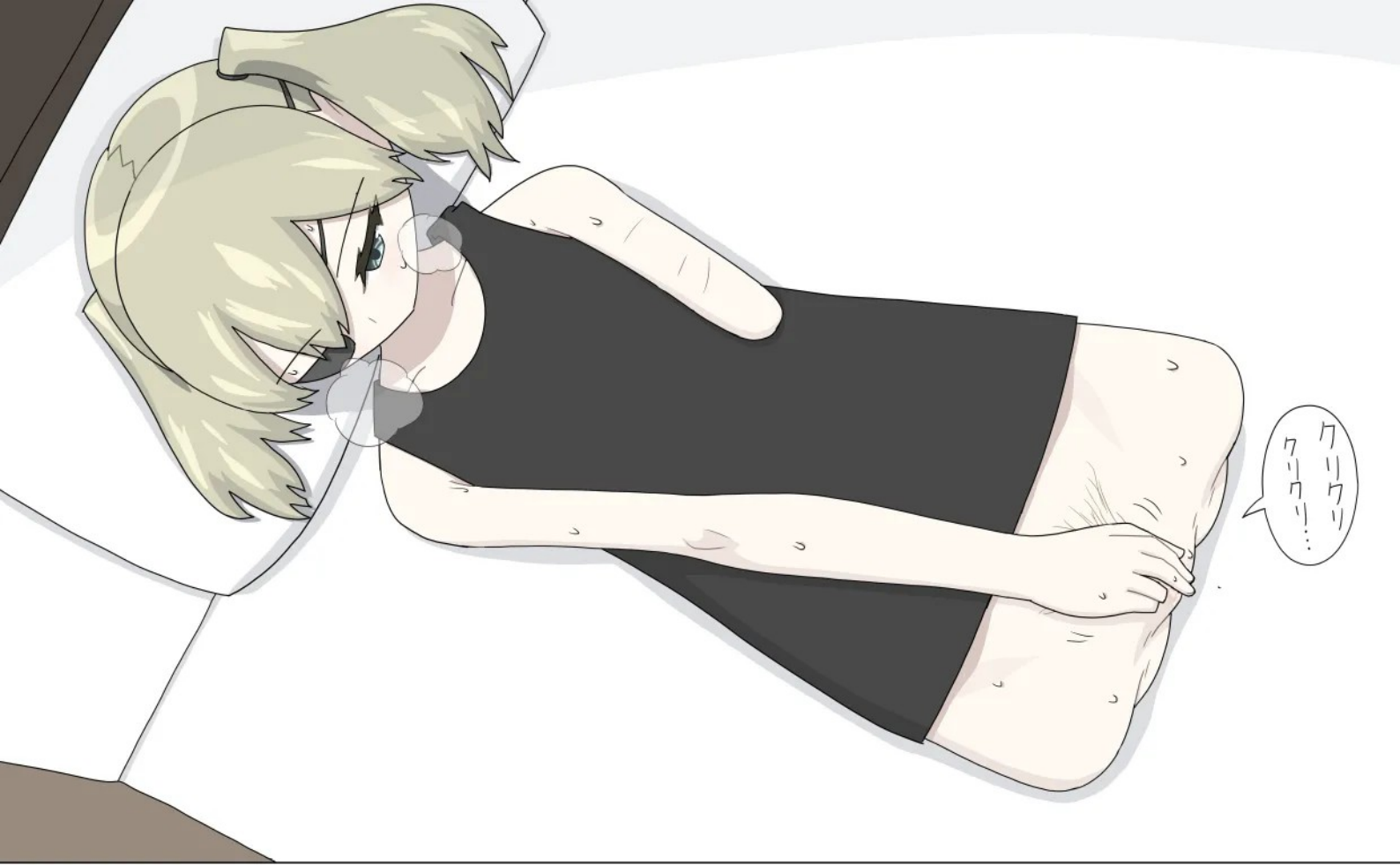


おはよう
ロラン!

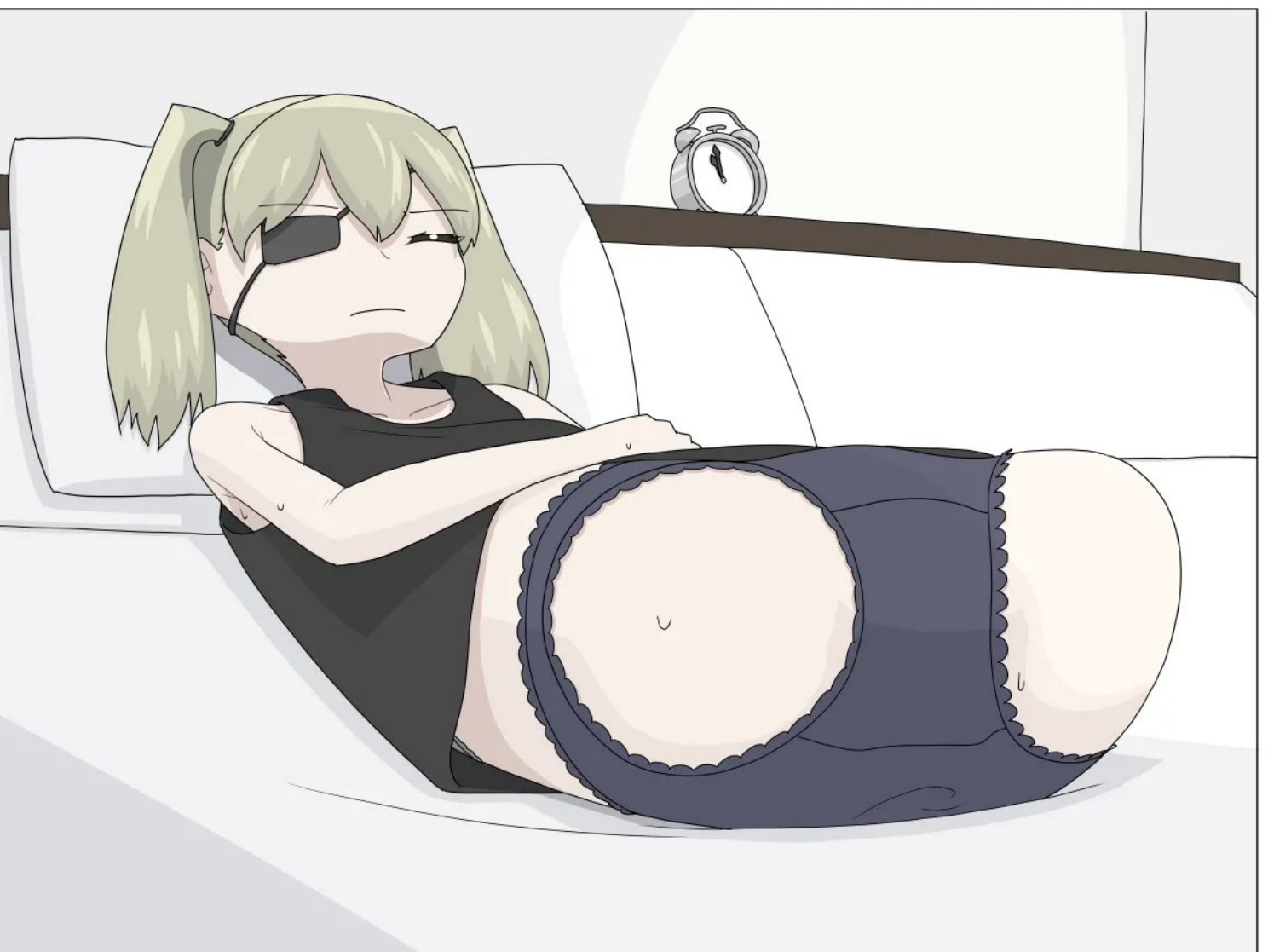


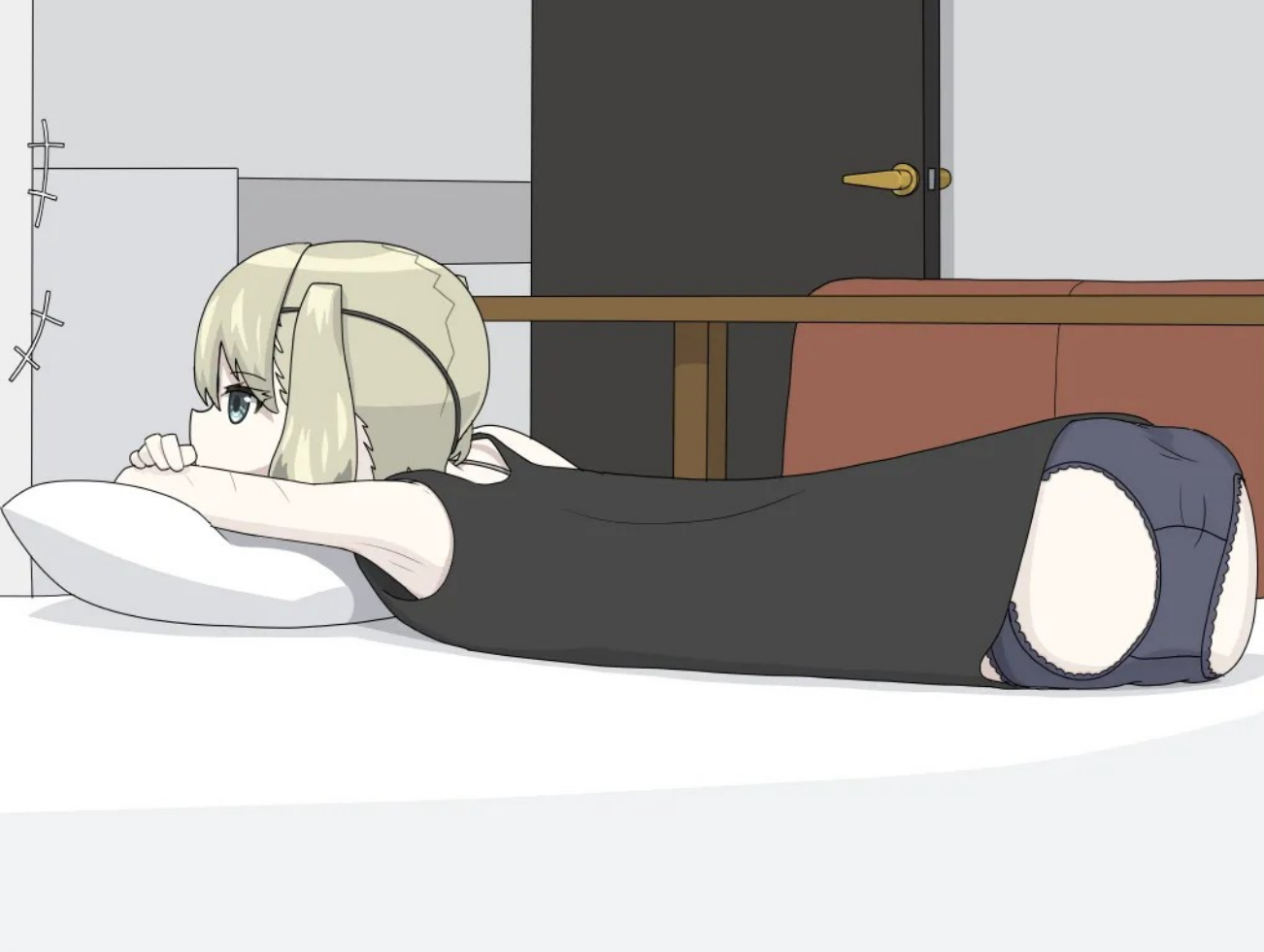




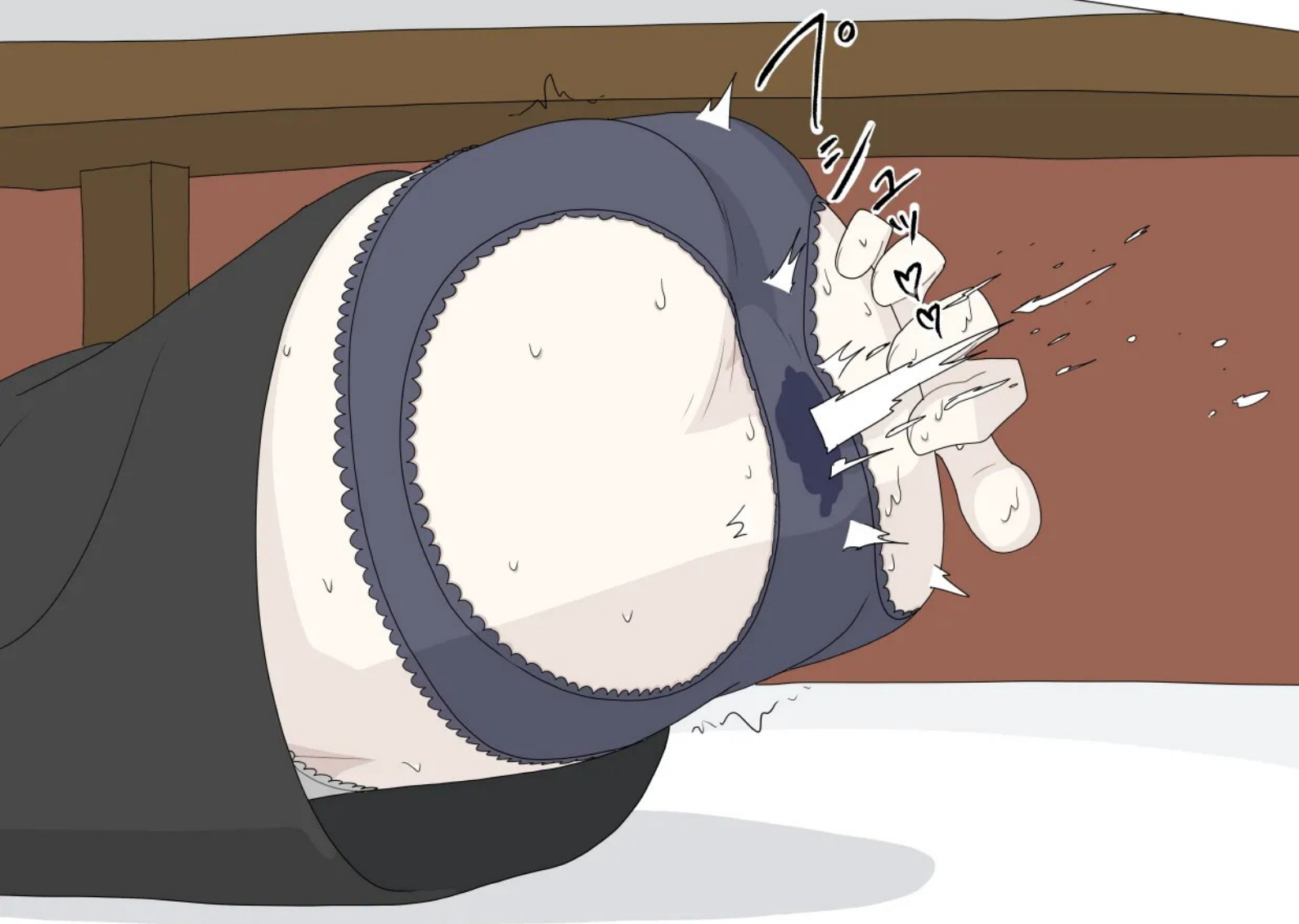
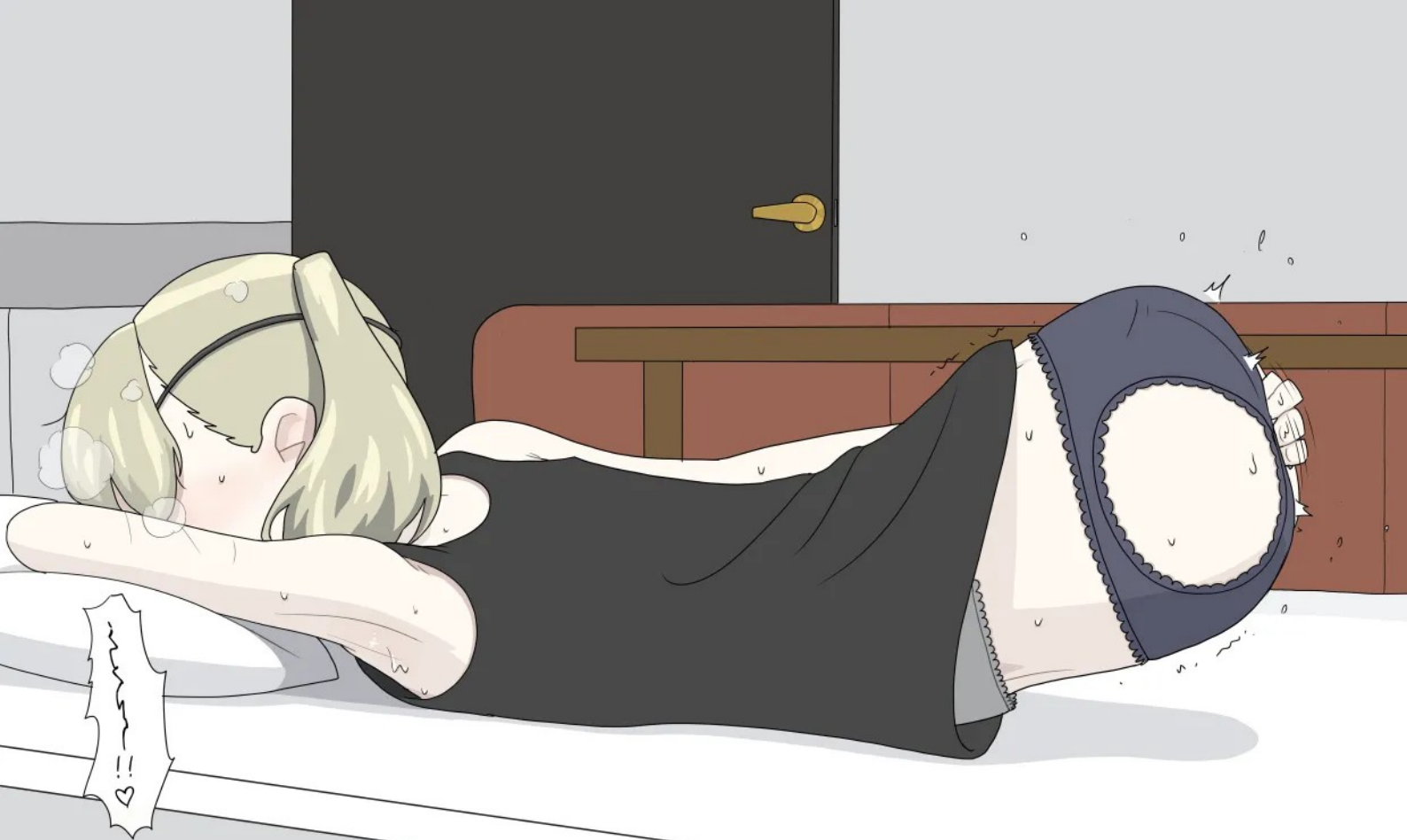




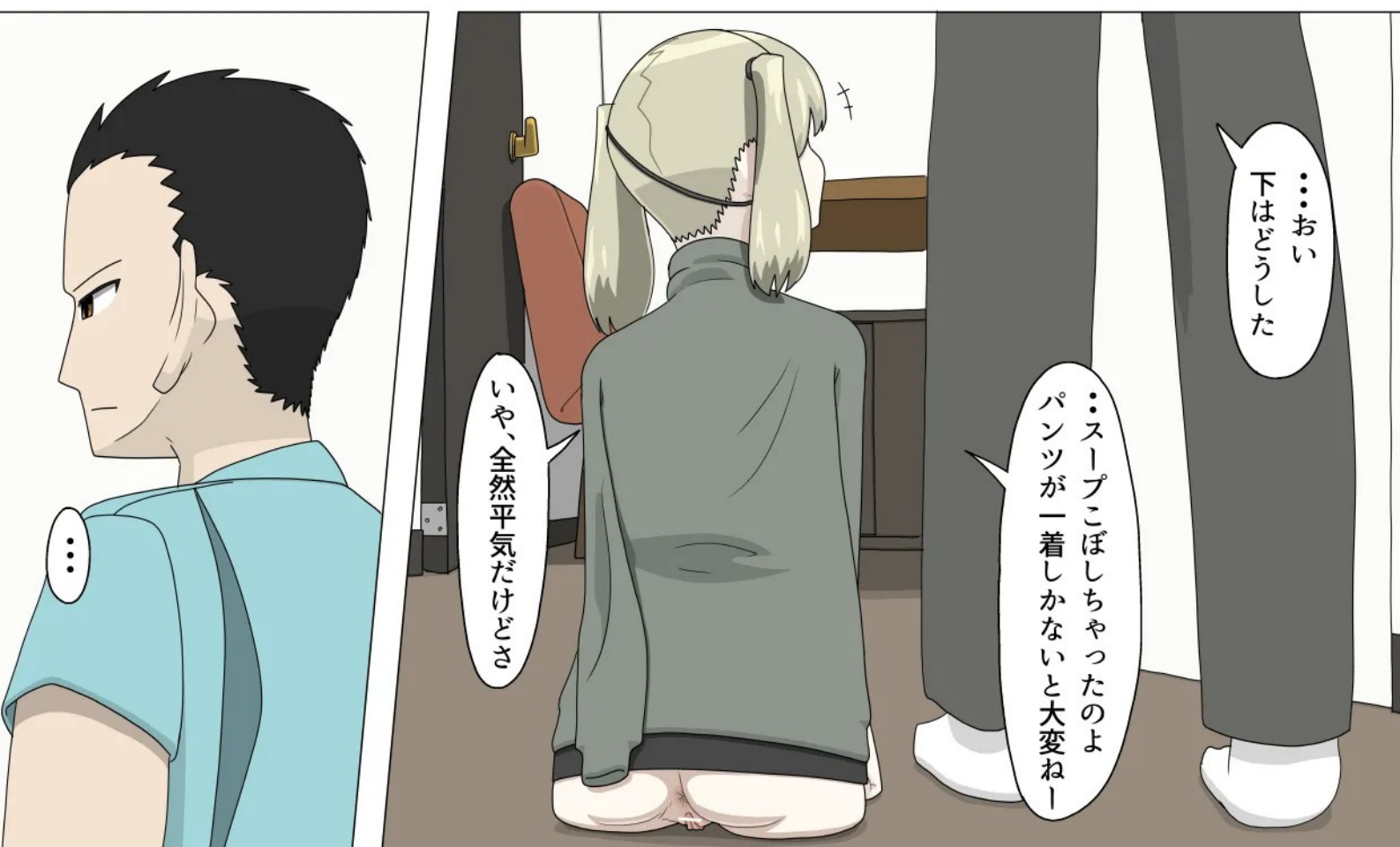














ね・・・もうちよつと居させてよ
家事は全部やるからさ

しなくていい
それより怪我は治ったのか

・・・うん

・・・そういえば
あの怪我はなんだったんだ？

・・・あの日、家族と大喧嘩して・・・
お皿を投げつけられたの

私も悪いのよ？
高校卒業してから
何もしてなかったもの

でも、ここにはもう
居られないな・・・って思ってた

ねえ

ロランは、ほんとに私に
出たってほしいって思ってるの？

俺よりいい奴なんて街にいくらでもいる

…それは
どうかしらね

しつこくからかったり、
やたらと指摘したり、
あだ名にしてみたり…

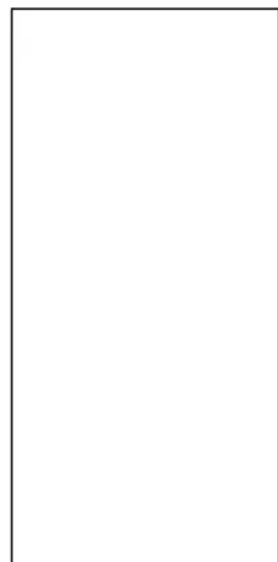
そういう人がいないってだけで
居心地が全然違うのよ

今は、それだけで
何の不満もないわ

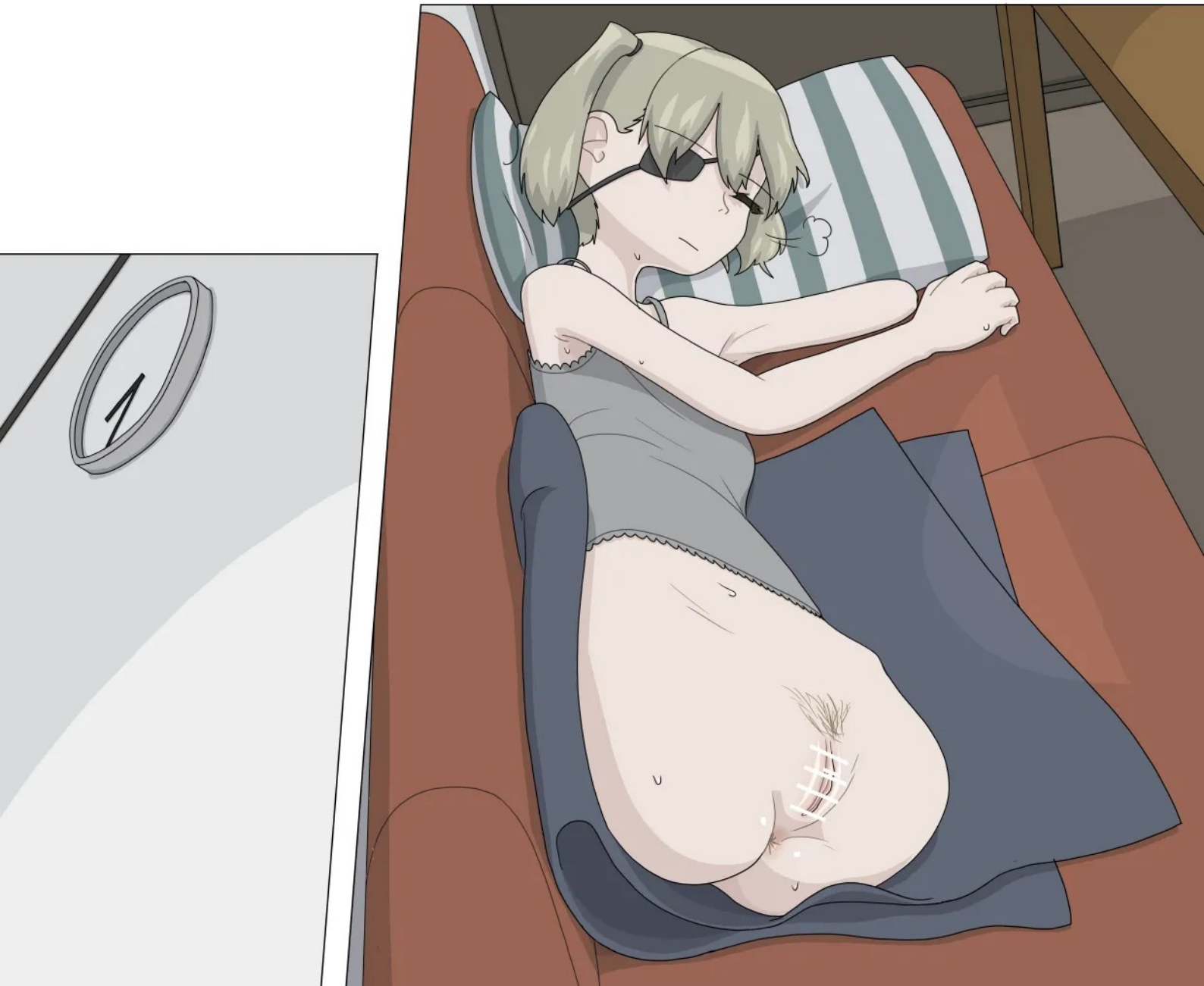
…

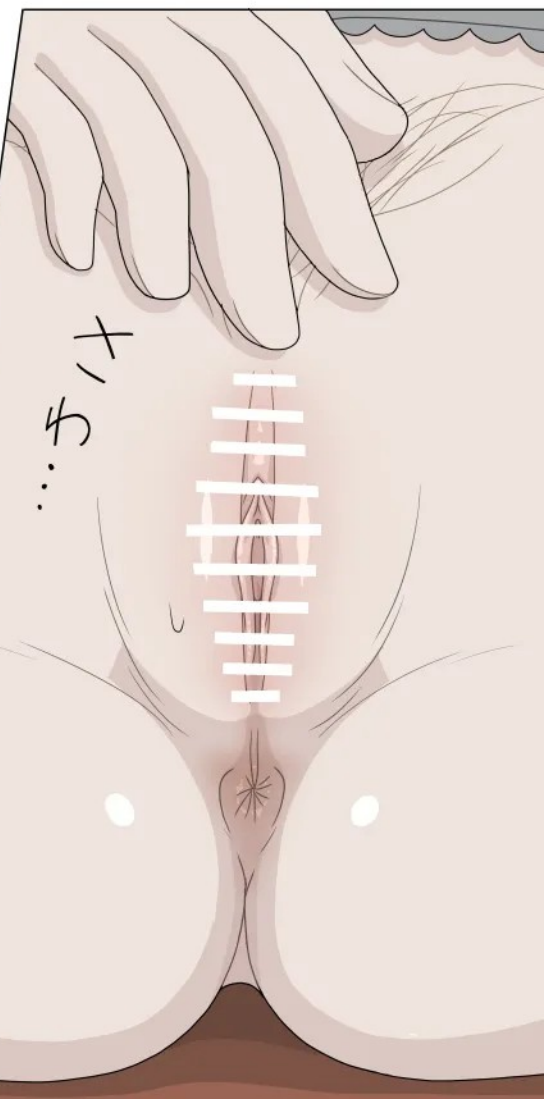
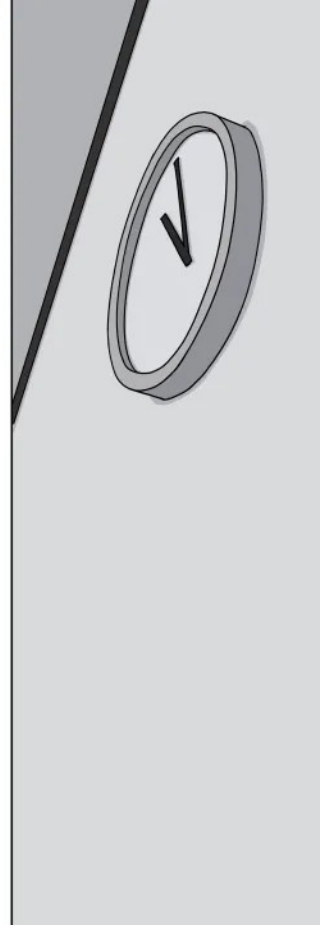


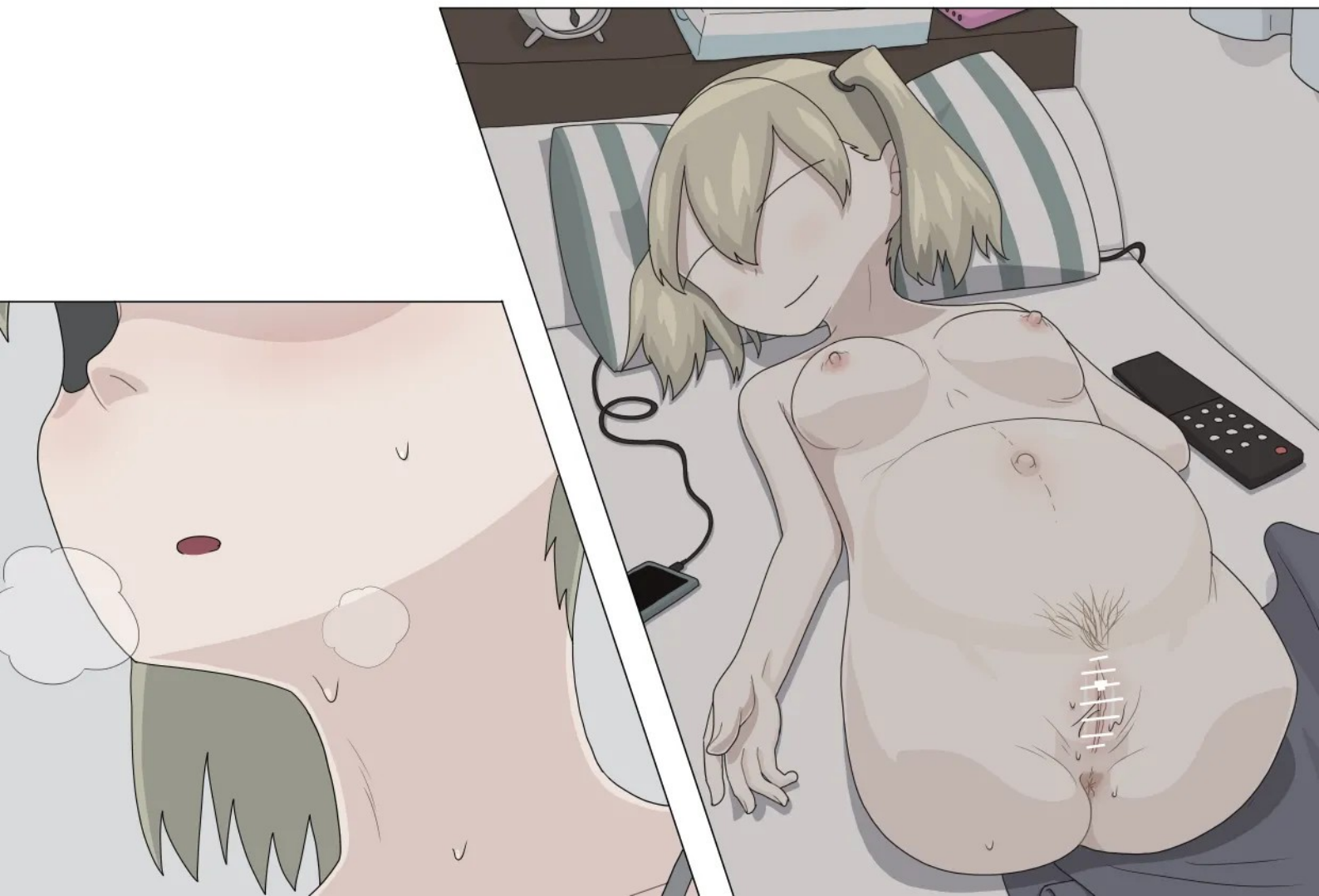
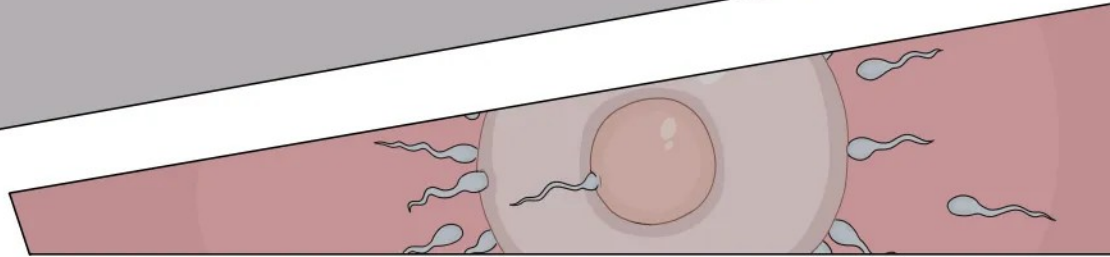
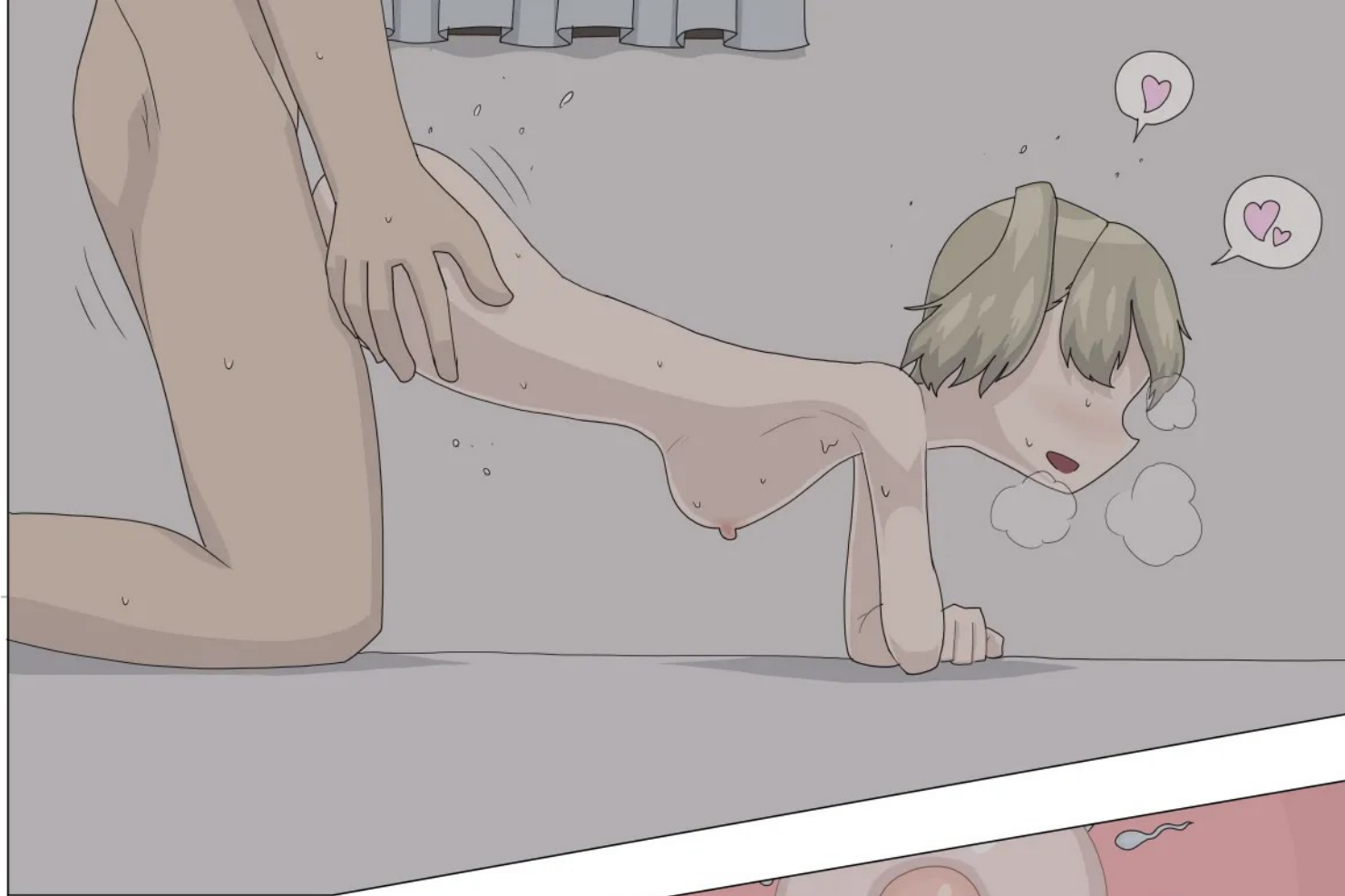


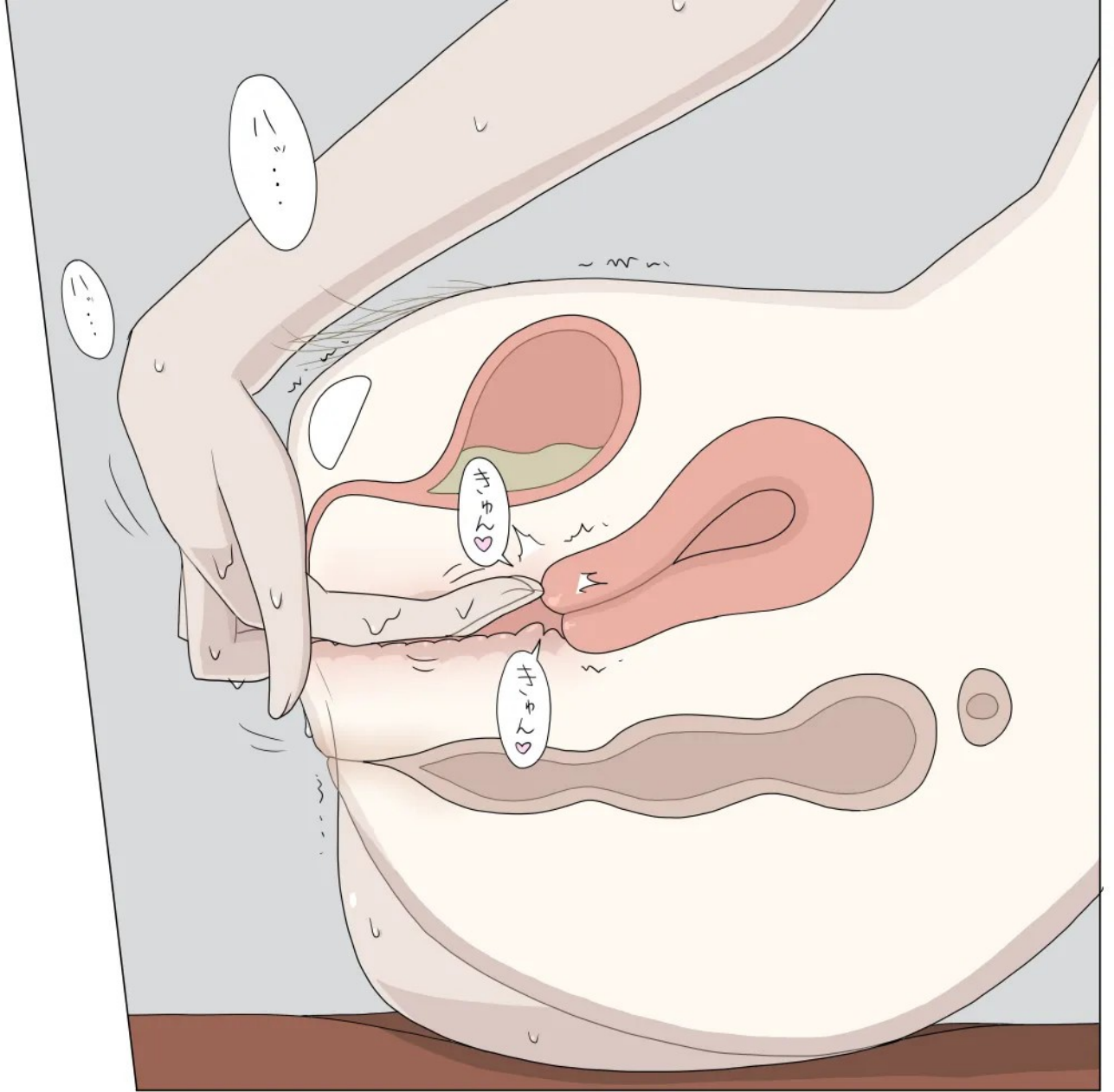




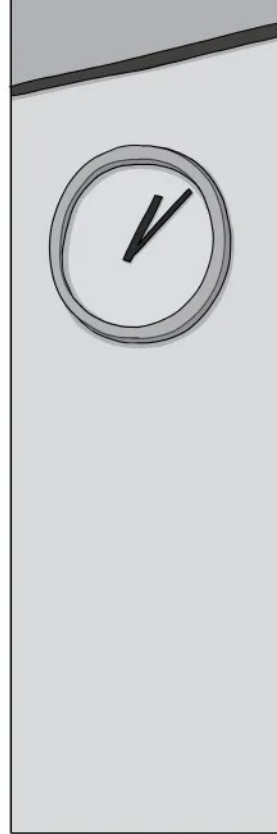


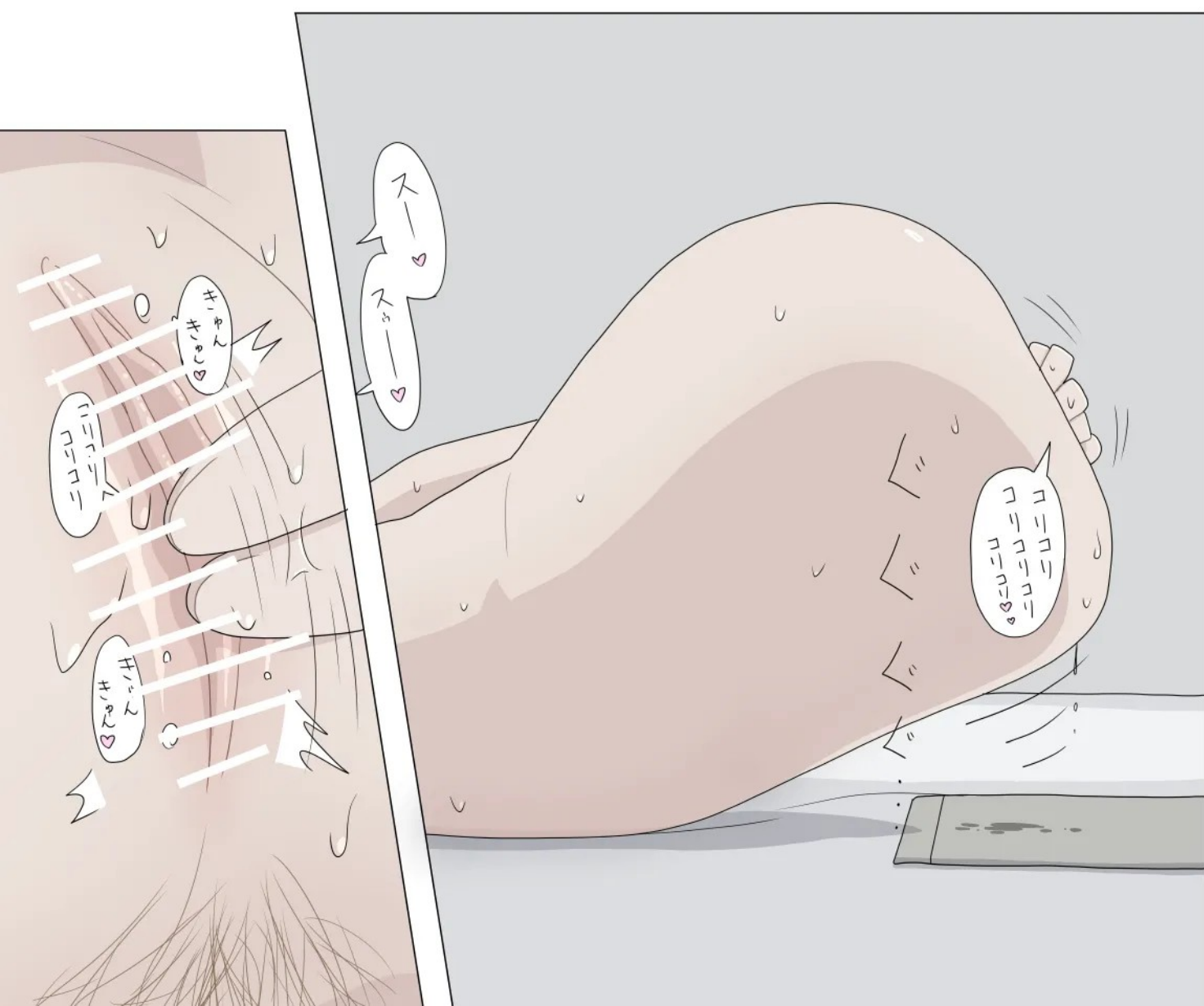
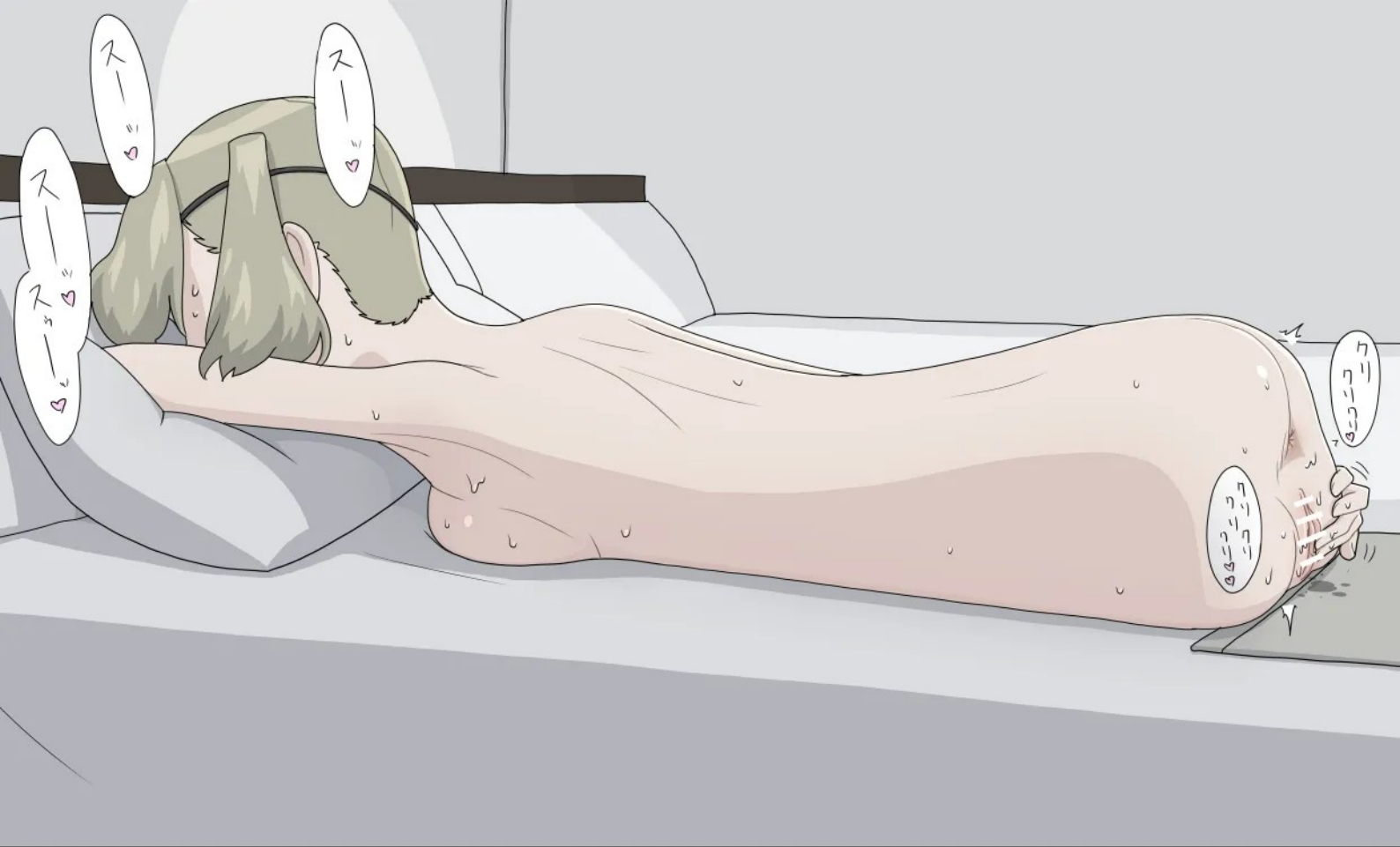


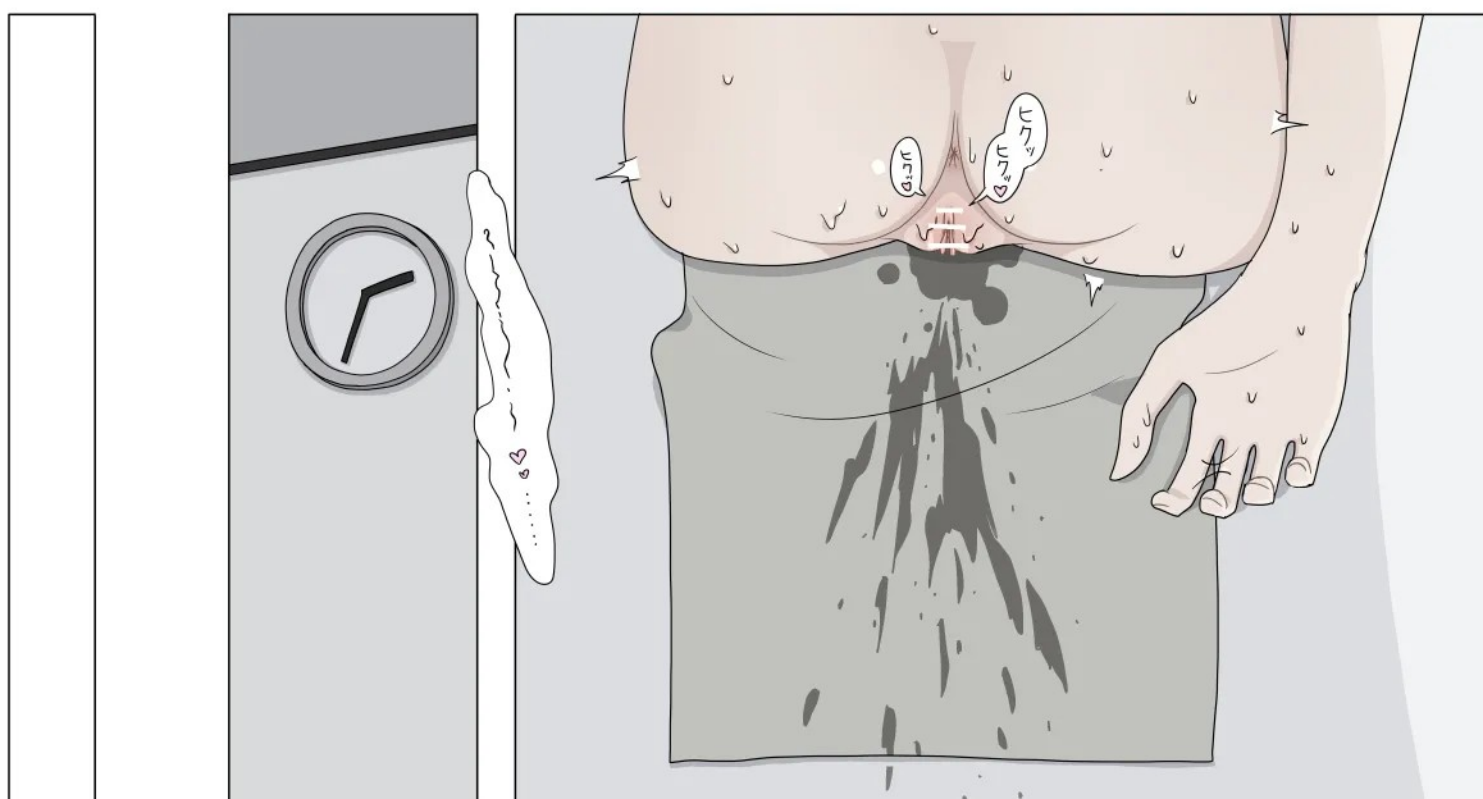


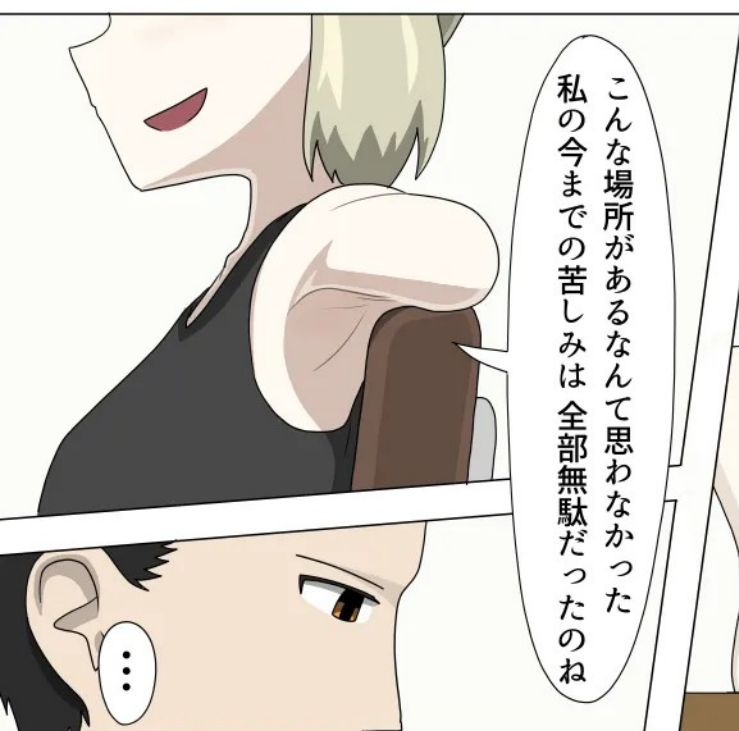


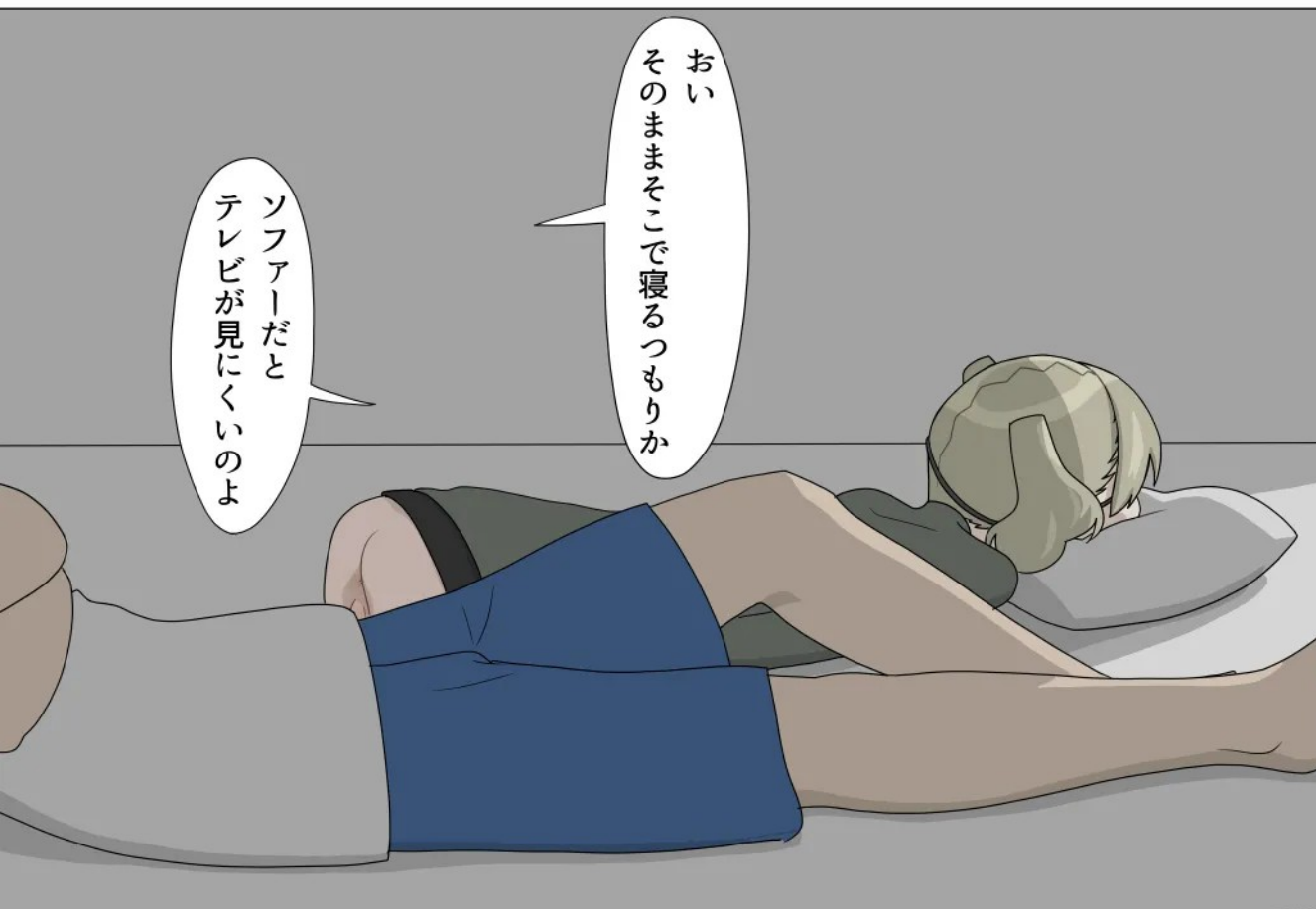














そろそろ街に出てみないか

いつまでもこんなところに
いるわけにはいかないだろう

……

……そうね

これ以上世話になる
わけにいかないわね



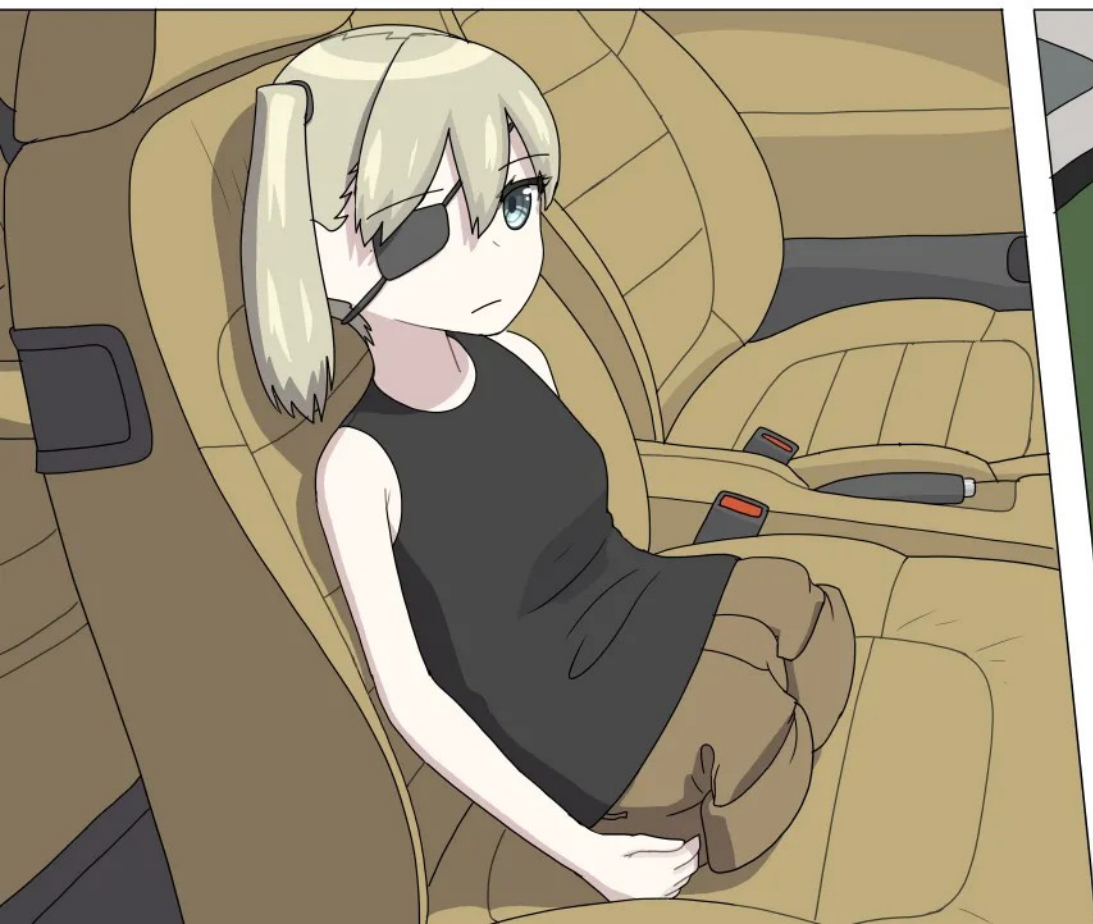


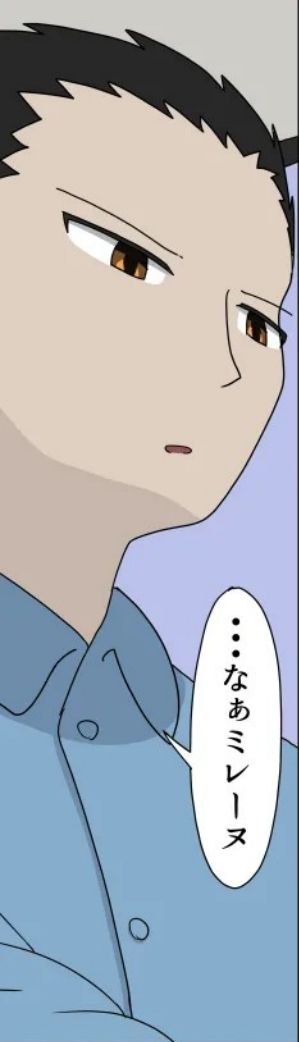
……こっちこそ、碌に服も買えんのに
無責任に引き入れてしまってた











……なあミレーヌ



だから、
そんなに不思議がらないでちょうだい

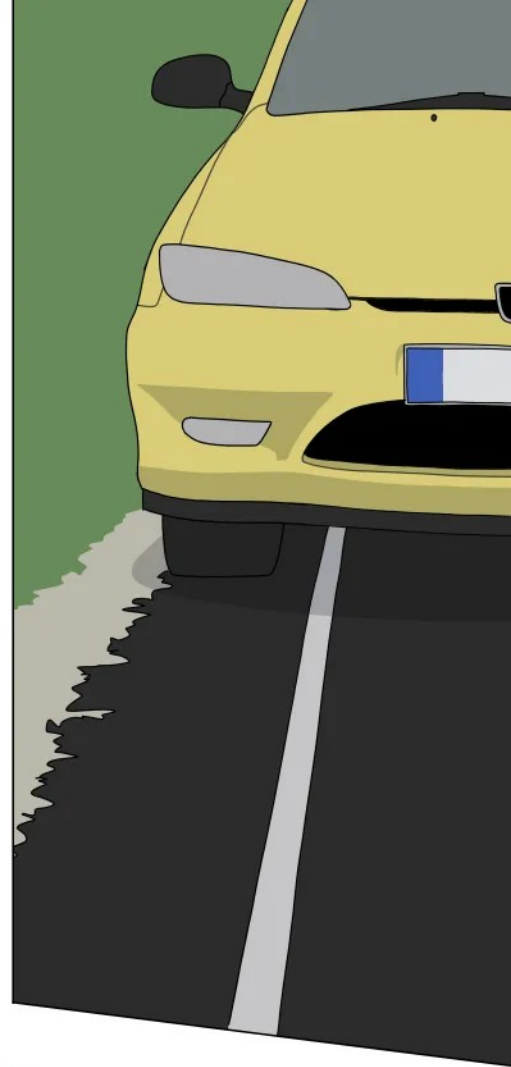
私はロランのこと、かつこいと思ってるわよ

……
ロラン、最後だから言うけどさ

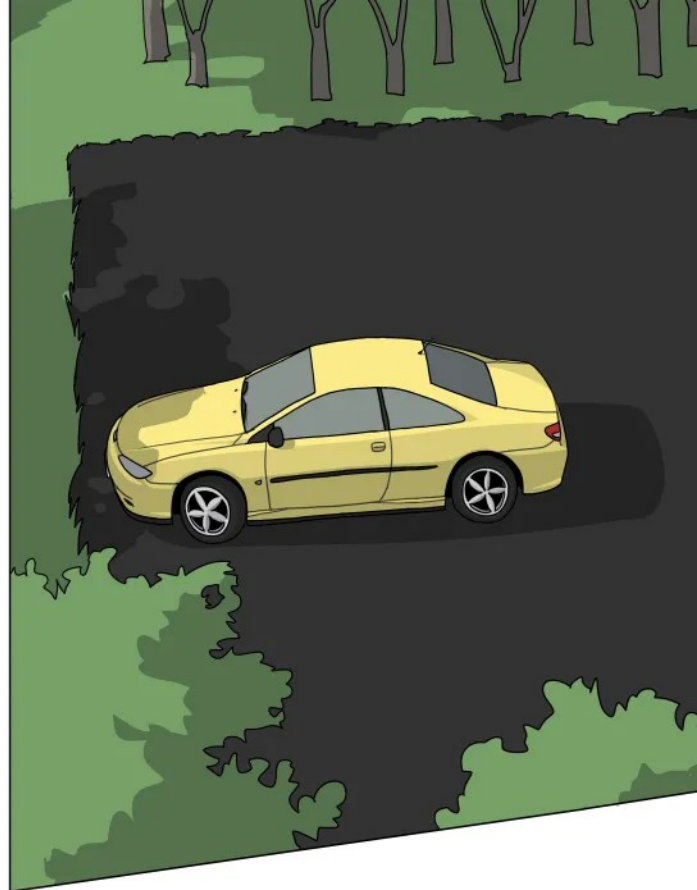


俺には、お前が今まで
どんな辛い思いをしてきたのか
分かる気がするんだ

俺は本来初対面で
ここまでの信頼を寄せられるような
人間ではないはずなんだ





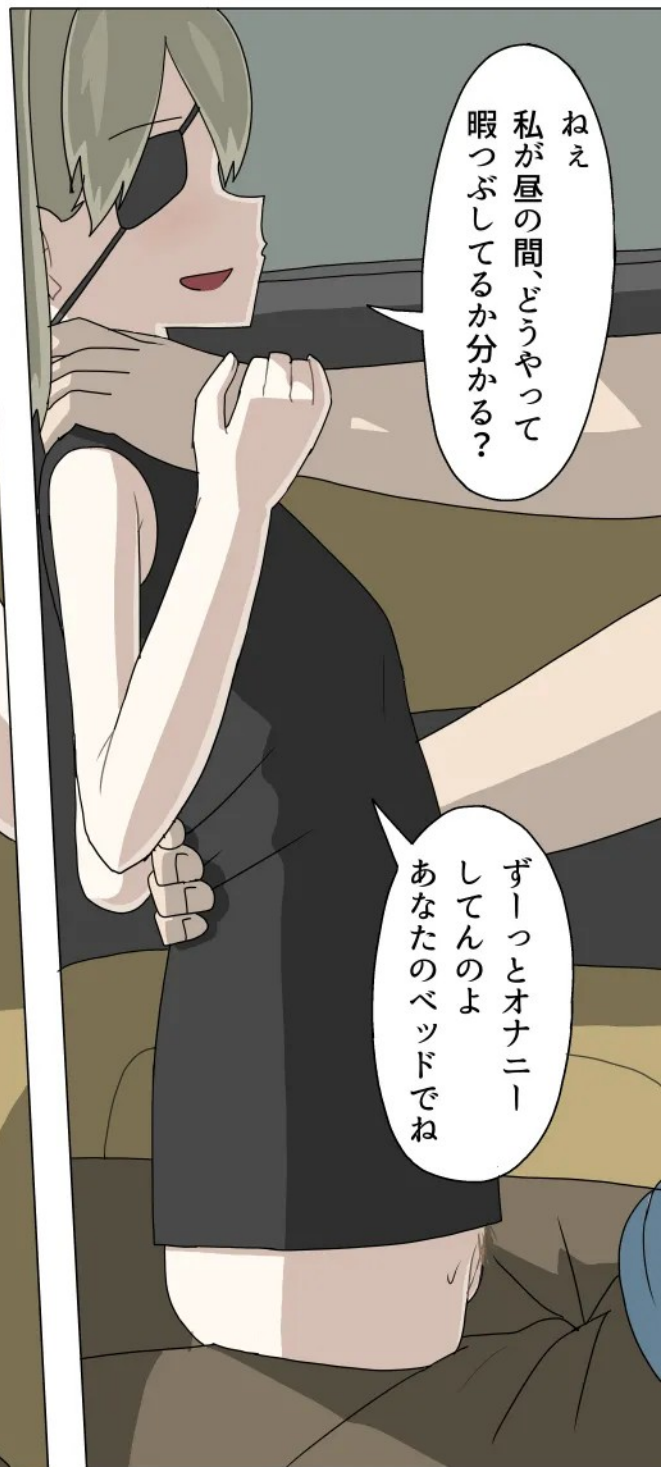




ね、なんでこんなに
ムキムキなの？

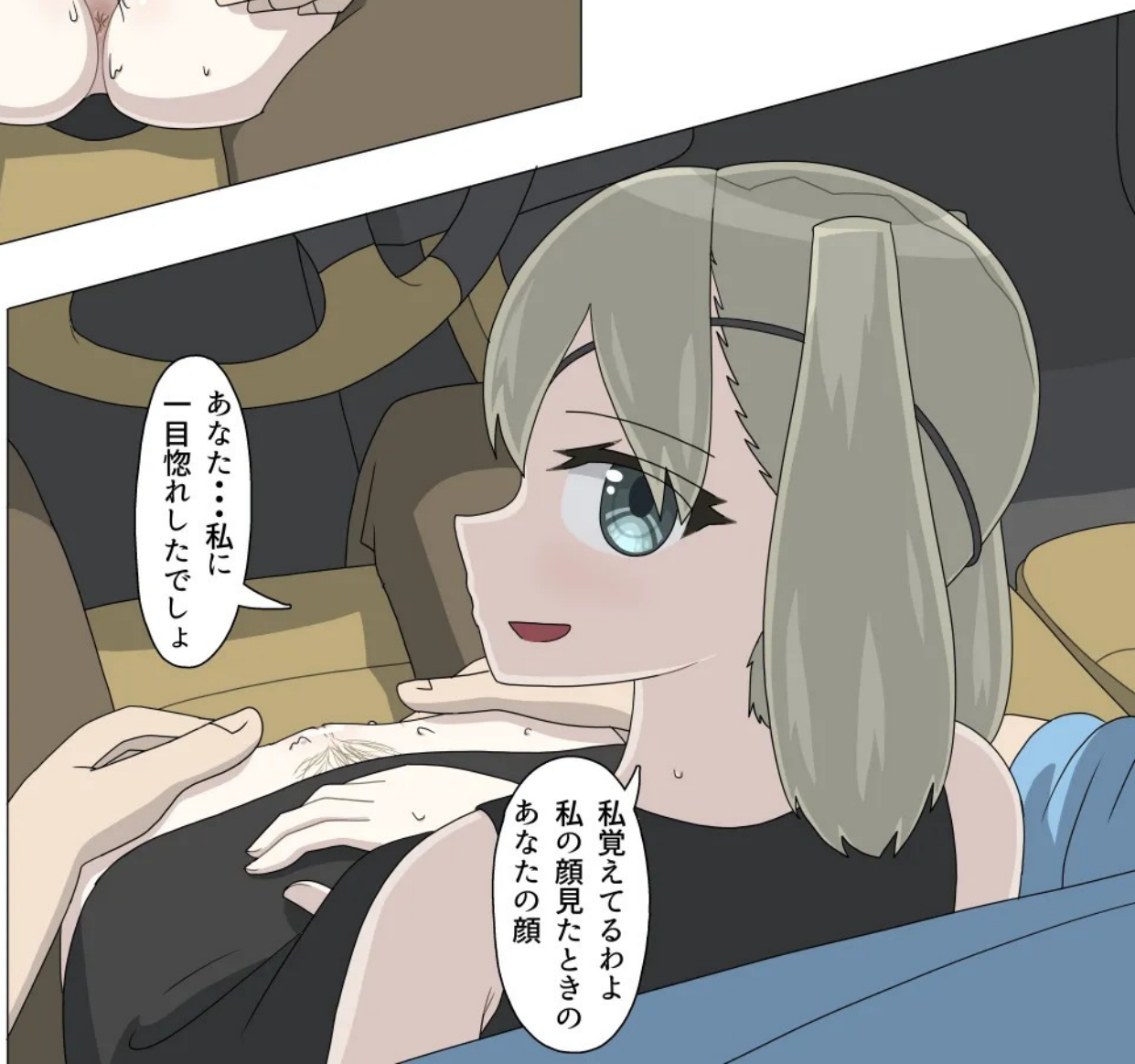
ふーん

仕事柄だよ





…あいつに似てたんだ



あなた…私に
一目惚れしたでしょ

私覚えてるわよ
私の顔見たときの
あなたの顔

…写真の女の人ね

大学からの付き合いだった
治らん病気になってな

両脚を切断したんだが、
間に合わなかった

もう何年も前の
ことだな

…彼女さんを私に投影したのね
やけに優しいわけよね

ああ…
それでつい家に入れてしまったんだ
申し訳ない

送るのが遅れたのも
ほんとは出てってほしくなかったから？
早朝なんだから平日でもいいわよね

ああ
家に帰るのが
毎日楽しみだったよ

ふふふ…
一人はつらいものね…



見て・・・全身じつとり
帰ってシャワーにしましょうよ

分かった

あ、その前に

・・・見せるもんじゃないし
もう散々他人に見られちゃってるけどさ



……ふふふ……
じゃ、帰りましょ
やっと思つた、
私の居場所に

ああ

ねえ、これからも
優しくしてくれる？
好きになってくれる？



半裸留守番達磨
初版：2025年7月6日
著者：エゾ/Ezo (@EzoDaiau)
複製を禁ずる。Don't repost.

※本作品は、描写されている行為を肯定するものではありません。

